

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

1

2025

January

職業奉仕月間

いま、あらためて
四つのテスト

締切迫る!

2025-26年度『ロータリーの友』



表紙を飾る絵 大募集!



あなたの絵が表紙に!

バラエティーに富んだ絵で読者の多様性を表現します。

画伯ロータリアンの皆さま、絵で『友』を彩りませんか?

表紙で話題づくりをしてみませんか? ふるってご応募ください!

ローターアクター、
財団奨学生、米山奨学生
などの作品もOK!

応募方法は2ステップで!

①応募規定を読む

※『友』ウェブサイトの「表紙募集」、10月号横組みP44~45でご覧いただけます。

②Google フォームかメール添付で送る

※デジタルデータでの応募をお願いします。

※Google フォーム利用にはGoogle アカウントが必要です(お持ちでない方はメール添付をお願いします)。

詳細・ご応募はこちらから

www.rotary-no-tomo.jp/cover.php



テーマ

テーマは自由!

ご当地の風景やふるさとなど、
地域性を生かした作品歓迎

審査方法

ロータリーの友委員会・
編集部での厳選なる審査
の上、決定します

応募資格

ロータリアン、ローターアク
ター、ロータリープログラ
ムの参加者・経験者

応募要件

油絵・水彩画・版画・グラ
フィックアートなどの平面
作品(画法・画材不問)で
郵送可能な作品

発表

『友』25年7月号ならびに
『友』ウェブサイト(6月下旬
掲載予定)に、入選者の氏名
および掲載月を発表します

**2025年
2月28日(金)
締切**

お問い合わせは『友』編集部・表紙募集係まで
cover@rotary-no-tomo.jp

※審査内容・決定に関するお問い合わせには応じかねます

CONTENTS

1 月は 職業奉仕月間

R I 会長メッセージ 4

R I 会長 ステファニー A. アーチック

特集 職業奉仕月間 7

いま、あらためて 四つのテスト

四つのテスト その由来をひもとく

モローベイ RC ダレル・トンプソン

『THE ROTARIAN』『友』のバックナンバーから

Four - Way Testの訳語について

元 R I 理事 手島知健

『友』のバックナンバーから

「四つのテスト」は一つのテスト?

ロータリーの友編集担当理事 本田博己

PICK OUT PROJECT 14

END POLIO NOW

私のロータリーのマジック ③ 16

よねやまだより 22

Campus & Diary ③

張 家翎

地区大会略報 II 30

第 2560 地区 / 第 2780 地区 / 第 2840 地区 / 第 2710 地区 /
第 2730 地区 / 第 2530 地区 / 第 2740 地区

大阪・関西万博に関するお知らせ 32

ロータリーが、大阪・関西万博
テーマウィークパートナーに!

大阪・関西万博関連事業実行委員会 /
第 2660 地区・2022 - 23 年度ガバナー 宮里唯子

ELEVATE ROTARACT 33

姫路ローターアクトクラブ

NEW GENERATION 34

元ローターアクター 坂上卓史 / ローテックス 森田陽湖

- 6 ● ロータリーとは
- 24 ● People of action around the globe
- 26 ● ROTARY AT WORK
- 35 ● パズル de ロータリー / 詰め碁
- 36 ● エバンストン便り
- 37 ● 財団管理委員長からのメッセージ 
● 2025 年国際大会 
- 38 ● 内外よろず案内 / パズルの答え / 詰め碁の答え /
『友』モデル急募! / 「NEW GENERATION」ご推薦の
お願い
- 40 ● お知らせ 新ロータリー衛星クラブ / 新 I A C / 地区別ク
ラブ数・会員数一覧表 / 『友』2 月号主要記事予定 / 友管理部か
らのお知らせ (購読部数変更について / 電子版閲覧のためのパス
ワードについて)
- 42 ● 日本ロータリー分布図 / 奥付
- 44 ● 投稿規定

● 本誌中の R I は国際ロータリー、R C はロータリークラブ、R A C はローターアクトクラブ、I A C はインターアクトクラブの略です。
● 縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。 ● 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。
● 公式ロゴ、誇りのシンボル、簡易公式ロゴ、および ROTARY は、国際ロータリーが保有する商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。



Bring the joy

I always walk into meetings at my home club of McMurray, Pennsylvania, with a smile on my face.

A few years ago, someone arrived late. Instead of scolding the person, we cheered. Since then, we've made it a tradition to applaud all members when they arrive for meetings. It's tough not to smile with a greeting like that.

There's nothing more powerful for engaging and retaining members than a club that's vibrant, welcoming, and — yes — fun.

Think back to what drew you to Rotary. Chances are, it wasn't just the service projects or professional networking. It was the people — the friendships, the shared laughter, and the joy of working toward a common purpose. That's what keeps us coming back.

If you're looking for that sense of joy in your meetings, don't be afraid to ask yourself and your fellow members some tough questions. If you were a prospective member, would you join your current club? It's a powerful question but don't stop there.

Do members of your club feel that they belong? Are your meetings fun? If not, what can you do about it together?

At your next meeting or event, try something new to bring out a few extra smiles. It's the simple things that create lasting bonds and make clubs simply irresistible.

Here's one example of a club moving in the right direction. The Rotary Club of Fukushima, Japan, has been combining environmental responsibility with community fun since 2021. In Japan, people have made picking up trash into a sport known as SpoGomi, and every year the club hosts a game. This year, more than 400 participants cheered each other on while they came together to improve their

community.

This event is an excellent example of how Rotary clubs can have fun, make a difference, and raise awareness for broader global challenges all at the same time. And the inclusive, family-friendly format allows people of all ages to participate.

When we enjoy what we do, that energy becomes contagious. It's what attracts new members and keeps our clubs strong and engaged. It helps people feel that they belong.

Retention and culture go hand in hand. The healthier our club culture, the more likely members are to stay. Rotary magazine is an outstanding resource for inspiration on how to enhance our club culture and deepen member engagement. I encourage you to explore the stories and strategies in these pages, drawing from other clubs' successes to find ideas that work for you.

Together, we can create a more engaged, enjoyable, and inclusive Rotary that every member can feel proud to be part of. Let's continue with renewed commitment and enthusiasm, living *The Magic of Rotary*.

For resources on engaging and growing membership, visit rotary.org/membership.

STEPHANIE A. URCHICK
President, Rotary International

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI 指定記事

喜びをもたらそう

私は、所属クラブである、ペンシルベニア州マクマリー・ロータリークラブ（RC）の例会に出席するときはいつも、笑顔で部屋に入ります。

数年前、ある会員が遅れて例会にやって来ました。その時、私たちは遅れたことをとがめるのではなく、拍手で迎えました。以来、私たちのクラブでは、例会に来た会員を拍手で迎えるのが新たな伝統となっています。誰でも拍手で迎えられたら、自然と笑顔になってしまうものです。

友好的で活気にあふれ、何よりも楽しいクラブほど、会員の積極的な参加と維持が図られます。

皆さんがロータリーに入会した理由を思い出してみてください。たぶん奉仕プロジェクトや職業的なつながりだけではなかったでしょう。親睦、一緒に笑い合うこと、共通の目的のために活動する喜びといった「人とのつながり」が入会理由にあったのではないのでしょうか。だからこそ、私たちは例会に行くのです。

例会に喜びを求めているなら、ご自身や仲間に少し難しい質問を投げかけてみましょう。「もし自分が入会候補者だったら、今の自分のクラブに入りたいと思いますか?」。これは核心を突く質問ですが、ここで問いを止めはなりません。

「クラブの会員は帰属意識を感じていますか?」「例会は楽しいですか?」「楽しくないのであれば、みんなでどう改善できるでしょうか?」

今回の例会や行事では、もっとみんなの笑顔を引き出せるよう、何か新しいことにチャレンジしてみましょう。末永い絆を築き、魅力的なクラブとなるには、シンプルなことから始めればよいのです。

これを着実に実践しているクラブの例を紹介します。福島RCでは、2021年以来、楽しく環境問題に取り組む活

動を続けてきました。スポーツとごみ拾いを組み合わせた「スポGOMI大会 in ふくしま」です。昨年は400人以上の参加者が元気良くこのイベントに参加し、より良い地域社会づくりに取り組みました。

このイベントは、クラブが楽しみながら変化をもたらし、同時に世界規模の問題への認識向上を図っている素晴らしい例です。インクルーシブで家族向きのイベントでもあるので、全ての年齢層の人が参加できます。

私たち自身が楽しめば、そのエネルギーが他の人にも伝わります。これこそ、新会員を引き付け、クラブを元気にし、会員の参加を促すための鍵であり、帰属意識を培う上で大事なことです。

会員維持とクラブ文化は表裏一体です。クラブ文化が健全であればあるほど、会員がクラブにとどまる可能性が高まります。ロータリーの雑誌は、クラブの文化を向上させ、会員の参加を助長する上でのインスピレーションにあふれています。雑誌で紹介されている他のクラブの成功例や方法から学び、皆さんのクラブで生かせるアイデアを見つけてみましょう。

私たちは共に、会員一人一人が誇りを感じられるような、参加型で楽しい、インクルーシブなロータリーをつくることができます。「ロータリーのマジック」を発揮し、新たな参加意欲と熱意を持ち続けていきましょう。

会員増強・維持に関するリソースは、rotary.org/membership をご覧ください

ステファニー A. アーチック
2024-25年度 国際ロータリー（RI）会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,691、会員総数1,171,376人（2024年11月20日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,195、会員数83,886人（2024年10月末現在）となっています。

2024 - 25 年度会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

いま、あらためて 四つのテスト

THE FOUR WAY TEST
of the things WE think, say or do

- 1 Is it the Truth?
- 2 Is it fair to all concerned?
- 3 Will it build good will and better friendships?
- 4 Will it be beneficial to all concerned?

1月は、職業奉仕月間。その理念の礎となっている「四つのテスト」は、ハーバートJ.テラー（1893～1978）によって作られました。その著作権がロータリーに渡って70年になりますが、その重要性はさらに増しています。過去の記事から振り返るとともに、ロータリーの友編集担当理事の本田博己氏が解説します。

四つのテスト その由来をひもとく

ダレル・トンプソン（アメリカ・カリフォルニア州モローベイ R C）

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリー（R I）によって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。

創案は七つのテスト

この四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー（ハーブ）は、やり手で卓越したセールスマンであり、人の上に立つ人物でした。ハーブは行動家で、信仰心があつく、道義を重んじる人物でした。1893年に米国ミシガン州に生まれたハーブは、イリノイ州エバンストンのノースウエスタン大学を苦学の末、卒業しました。卒業後、彼は、YMCAおよび英国陸軍福祉機関の任務で渡仏し、第1次世界大戦では米国海軍の補給部隊員として従軍しました。1919年にグロリア・フォーブリックさんと結婚して、米国オクラホマ州に新居を構えたハーブは、同地でシンクレア石油会社に勤務しました。彼は1年後に同社を退社し、保険・不動産・石油リース仲介業を始めました。

数年に及ぶこの事業でいささかの成功を取めたハーブは、1925年にイリノイ州に戻り、シカゴのジュエル・ティー社に入社、とんとん拍子に昇進しました。そしてやがてシカゴ・ロータリークラブの会員となりました。1932年、ジュエル・ティー社の次期社長候補であったハーブは、破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。調理器具メーカーの同社は、総資産額を40万ドル上回る負債を抱え、倒産の瀬戸際にありましたが、ハーブはこの難事業を引き受け、危機にひんした同社に自らの運命を託したのです。彼は、ジュエル社を辞め、これ

までの給与の8割減という収入でクラブ・アルミニウム社の社長に就任しました。しかもその上、運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資したのです。

信仰心のあつゝハーブは、同社を立て直し、大恐慌下の沈滞ムードを払拭するための手段として、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を提供すべく、神の啓示を求めて祈りをささげました。

社の倫理訓について構想を巡らせたハーブは最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長過ぎると判断しました。そこでさらに推敲を重ね、それを七つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初、七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。

広告に適用した四つのテスト

次にハーブは、出来上がった項目を社の4部門の部長に諮りました。その4人はローマカトリック教会信者、クリスチャンサイエンティスト（キリスト教の一宗派）、正統派ユダヤ教徒、長老派教会員という人たちでした。四つのテストが自分たちの宗教上の教義に反しないばかりでなく、私生活ならびに職業人としての生活の模範的指針になるものであることで、意見の一致を見ました。

このようにして、「言行はこれに照らしてから」の四つのテ

四つのテスト

..言行はこれに照らしてから..

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのために

ハーバート・テラー

ハーバート・テラー

ハーバート・テラー

小笠原ハス子

小笠原ハス子

1956年10月、RI会長代理として、仙台、横浜、大阪、長崎の地区大会に出席するため来日したハーバート・テラー

ストが誕生したのです。

真実か どうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるか どうか

簡潔さの中に深い意味を包含するこのテストは、事の大小にかかわらず、クラブ・アルミニウム社が諸事決定を下す際の基本となったのです。しかし、テストというものとはどんなものであれ、実際に検証される必要があります。実社会でうまくいくだろうか？ 事業家がその指針に従って仕事をこなしていけるだろうか？ ある弁護士はハーブにこう言いました。「もし私がこのテストを厳密に実行したら、私は飢え死にするでしょう。ビジネスに関して言えば、四つのテストは絶対に実行不可能です」

この弁護士の懸念も、分からないではありません。他者の利益を立脚点とした上で、真理を実践し、行動評価を行うよう求める倫理システムは、どんなものであれ、大きな負担を伴います。そのようなテストは、誠実さと野望のバランスを取るのに腐心している人たちに、苦痛に満ちた葛藤を与えることにもなります。一つの生活様式として、それを現実的に実行できるかどうかを巡って、世界中で熱い議論が戦わされてきました。懷疑深く、消極的な考え方しかできな

い人たちはさておき、ロータリアンの中でも、四つのテストは極度に単純化された哲学であって、その有用性は疑わしく、相矛盾する趣旨からなっており、目標は非現実的である、と真剣に考えている人たちが常に存在します。

このテストは、自らの動機と目標を思慮深く検討するよう求めるものです。真実、公平さ、思いやりに対する強調は、道徳的要素を多く含有しているため、“倫理的消化不良”を起こしてしまう人たちも確かにいます。しかし、1930年代のクラブ・アルミニウム社においては、あらゆることが、四つのテストに照らして判断されたのです。まず広告に対してそれは適用されました。「より良い」とか「最上の」とか、あるいは「最高の」や「最高級の」といった表現が広告から削られ、製品に関する事実に基づいた説明文が載せられることになりました。競合他社の欠点を論ずる文面も、広告や企業案内から取り除かれたのです。

難局に挑んだ四つのテスト

四つのテストは、徐々に同社のあらゆる面における指針となっていき、ディーラーや顧客、そして従業員の間にも、同社に対する信頼と好意が生まれることになりました。四つのテストは、社風の一部となり、やがて、クラブ・アルミニウム社に対する信望は高まり、財政の改善に寄与することになったのです。

ある日のこと、販売部長が、調理器具5万点の注文が

取れるかもしれないと発表しました。売り上げは低迷状態にあり、会社は依然として倒産の危機から脱していませんでした。最高幹部の人たちは、明らかにこの販売の機会を逃すことなく、商談が成立することを望んでいました。しかし、一つの問題点がありました。販売部長が聞いたところでは、注文主である業者は商品を値引きして販売したいということです。「これでは、これまでわが社の製品を地道に宣伝し販促してきてくれたディーラーに対して不公平となります」というのが販売部長の意見でした。結局、この注文は断ることになりました。その年には、ほかにいくつか厳しい決断が下されましたが、これは、その中でも最も苦渋に満ちた決断の一つでした。この取引を行っていれば、疑う余地もなく、同社が営業活動のよりどころとする四つのテストを嘲笑することになったでしょう。

1937年までに、同社の負債は完済され、その後の15年間では、株主に対して100万ドル以上もの配当が支払われました。また、同社の純資産は200万ドル以上に達しました。

いかがですか？ これでも、あまりに理想的すぎて実社会には向かない、とお考えですか？ 四つのテストは、ビジネスという厳しく、変転極まりない世界で生まれ、経済界が経験した最も過酷な時代の中で、厳密な試験を経てきたのです。それは、実業界という競争の場で生き残ってきたものなのです。

1942年、当時のR I理事のシカゴのリチャード・ベナー氏が、ロータリーもこのテストを取り入れるべきだとの提案をしました。R I理事会は、1943年1月にベナー氏の提案を承認し、四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素としました。もっとも、このテストは、今日では奉仕部門のすべてにおける不可欠の要素として認識されています。

ハーブは、ロータリーの創立50周年記念にあたる1954-55年度、R I会長に就いた時、四つのテストの著作権をR Iに移譲しています。

今こそ必要なのは倫理的誠実さ

1930年代に誕生して以来、60年以上の歳月が過ぎ去ったこの現代社会では、ある人たちが批判するように、四つのテストは、その有効性を喪失してしまっているのでしょうか？ それとも、変化のテンポの速いこの時代においても、事業や専門職に携わる人たちの指針として機能するに足る洗練さを保持しているのでしょうか？

真実かどうか—真実は不変であり、時代を超越するものです。真実は正義なくしては存在し得ません。

みんなに公平か—顔を突き合わせてとは言わないまでも、腕を伸ばせば届くような所で激しくやり合うビジネス手法に代わり、公平さを取り入れたビジネスは、お互いの関

係を傷つけるよりも、その関係向上に役立ってきました。

好意と友情を深めるか—人は生まれながらにして、他者と協力して生きていく存在であり、愛情を示すことは生来備わっている本能です。

みんなのためになるかどうか—この項目は、食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入するものです。

四つのテストは国家という枠を超えたものであり、国境や言葉の障壁を超越するものです。そこには、政治や独断や特定の信条は介在しません。一つの倫理規範としての存在以上である四つのテストは、いかなる形であれ、人生を成功に導くための要素を含み持っています。それは今日の社会でも有効性を保持し、かつ実効性のあるものなのです。

最終的なテストは、実際に行動することにあります。著名な心理学者であるウィリアム・ジェームズ(1842-1910年)は、「真実が意味するところの究極的なテストは、それが指示あるいは示唆する行動である」と、言っています。今日のロータリーの中核には、倫理的卓越性を使命とする四つのテストが存在します。人類は、共に繁栄することができるのです。現代のビジネスは、誠実かつ信頼のおけるものであり得るのです。人々は、お互いを信じ合うようになるものなのです。

1977年のサンフランシスコ国際大会で、米国の取引改善協会(不正広告の排除など商道德の改善を目指す実業家・生産者の団体)のジェームズ S. フィッシュ氏は、次のように語っています。「競争を原理とする企業経営システムが存続するためには、厳格な倫理規範という枠組みが必要です。実際のところ、資本主義制度の全体構造そのものが、信頼というものに大きく依存しています。つまり、ビジネスに携わるすべての人たちは、お互い同士だけでなく、大衆や消費者や株主や従業員とも、公平かつ誠実に対応するという信頼関係に依存しているのです」

現代社会が今一番必要としているものは倫理的誠実さであると言ってもいいでしょう。四つのテストは、人々が価値ある目標を追い求める際の指針として活用できます。その目標とは、友人を探し選び、その友人関係を維持すること、周りの人たちと友好関係を築くこと、幸福な家庭生活をつくりあげること、高い倫理的・道徳的基準を設定し身に付けること、自ら選択した事業や専門職で成功を収めること、より良き市民となり、次の世代にとっての良き手本となること、といったことです。

簡潔さの中に多くが語られ、感動的なまでに力強く、実のある成果を必ずもたらすこの四つのテストは、緊張と混乱と不確実性に満ちたこの世界のただ中に、清新で明るさにあふれた未来展望を与えてくれるのです。

Four-Way Testの訳語について

元RI理事 手島 知健

Four-Way Testの通訳については60区、61区の各クラブから応募せられた案は実に70有余に上り、いずれも結構なのでありますが、この応募のために多数の会員がその真意をつかむことができたことは訳語としての可否は別として、誠に得難き経験と御同慶に存じます。多数の佳作の中から甲乙をつけるのは非常に困難であります、まず1.簡潔で分かりやすいもの

1. 疑問体のもの、反語を避けまた誓言的でないもの

1. ロータリアン以外の方、特に中学程度の若人にも難解でないものというので両区の50周年記念委員で選ばれたものの中から、標準案として次のものを採用してはいかがかと存じます。

○四つのテスト

1. 真実か、どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか、どうか

これは次の通りの応募案の一つを基本にして他の案から一部の用語を借りてきたものです。原案は

○四つの自省一言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか 2. みんなに公平か
3. 善意と友愛を深めるか 4. みんなのためになるかどうか、でありました。また標題については

四つの自省、四つの判省、四つの反省、四つの自戒、渡世四針、四つの道、四つの試問、四つのめやす、心だめし四則、四つの基準的な考え方、判断する際に必要な四則。その他いろいろの案がありましたが、これは反省でなく事前の自問である点から、やはり一番多い案の「四つのテスト」がよかろうと考えました。

上記の条件に合うものとして次の各案はいずれも結構であります。

- 1. 真実か 2. 公平か
3. 好意となり友情を深めることか
4. 人の為になることか
- 1. それは正しいことか 2. 公明妥当か
3. 好意と友情が深められるか 4. みんなに有益か

○四つの反省

1. それは正しい事だろうか
2. それはみんなに公平だろうか

3. それは信用を築き且つ友情を増すことになるか
4. それはみんなの幸福になることだろうか
- 1. 誠に欠けていないか 2. 卑劣でないか
3. みんなが喜ぶか 4. みんなの為になるか

○四つの吟味

1. 正しいか 2. みんなに都合がよいか
3. 好意と親睦を増進するか
4. みんなが利益を受けるか

○四つのテスト

1. 真実でしょうか 2. 皆さんに公平でしょうか
3. 好感を持たれ友情を増すでしょうか 4. 皆さんに有益でしょうか

また、以前から使われているもの10有余の中では

○四つの道

1. それは正しい事か 2. 公明妥当か
 3. 好意と友情を深めるか 4. 皆さんに有益か
- というのが最も簡潔明瞭であるようです。

選択の方針に沿わないが、特色ある作品として次のようなものがあります。

○事に当りて先ず問わん

それが真実で正しいか 公明正大明朗に
好意と友誼を増進し凡ての者を益するか

○四つのめやす

1. ごまかしはないか 2. どちらかにかたよらないか
3. これからも“このひとなら”とおもつていけるか
4. おたがいに“おかげさまで”というようになれるか

とにかく私にお任せくださったので一応上記のような結論を出して御批判を待つ次第であります。なお、この訳語（選出）につき御協力くださった各クラブ会員および50周年記念地区委員各位に対して深く敬意を表するものであります。（東京RC・1952—54年度RI理事）

てしまともたけ
手島知健(1885～1968) 1949年、東京RCが戦後RIに復帰した時の、1949-51年度第60地区(当時は日本全土で1地区を形成)のガバナー。あふれる国際性と洗練された物腰をもつ彼は、戦後日本のロータリーが再出発した時の大きなけん引役になりました。かつてRIの日本語翻訳決定権は彼に委譲されており、「四つのテスト」の翻訳を取りまとめ、定訳を付けました。

解説



「四つのテスト」は一つのテスト？

ロータリーの友編集担当理事 本田博己

職業奉仕月間にちなみ、「四つのテスト」の意義を改めて考えてみました。

紹介したのは、アメリカのロータリアン、ダレル・トンプソンさんの「四つのテスト その由来をひもとく」。ロータリーの機関誌『THE ROTARIAN（現 Rotary）』の1999年10月号に掲載され、『ロータリーの友』（以下、『友』）ではこれまで3回掲載されています。

『友』でこのトンプソンさんの記事を何度も取り上げてきたのは、「四つのテスト」の由来と意義を考えると、簡明にまとまっているとされてきたからです。現在の日本における「四つのテスト」の由来解説は、ほとんどこの記事に基づいているでしょう。

シカゴ・ロータリークラブ（RC）のハーバート J. テーラーが会社再建の際、社員の行動指針として考案したこと、そしてこの「四つのテスト」を厳格に運用した結果、顧客の信頼が得られ会社再建が果たせたいきさつが、詳しく紹介されています。また、時代の変化の中、「四つのテスト」は有効性を保持できているのかという問いにも真摯に答えようとしています。

トンプソンさんの記事に併せて、手島知健元国際ロータリー（RI）理事の寄稿「Four-Way Test の訳語について」も再掲しました。1954年当時、全国のロータリークラブから集まった「四つのテスト」の邦訳案の優秀作について講評したものです。採用された日本語訳は東京ロータリークラブ会員の本田親男さんの原案をベースに一部の用語を他の応募作から借用し、標題は応募作の中で一番多かった「四つのテスト」を採用した経緯が語られています。

元はビジネス上の倫理指針

「四つのテスト」の公式日本語訳は簡潔で分かりやすい意識といつてよいのですが、一般的な人生訓のように

少し抽象的です。「四つのテスト」は、倒産危機にあった会社の再建のため草案されたものです。実際に使用したビジネス上の倫理指針として、このテストを見直してみましょう。

「四つのテスト」原文

THE FOUR-WAY TEST

Of the things we think, say or do :

- 1) Is it the TRUTH?
- 2) Is it FAIR to all concerned?
- 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned?

① 英語のタイトルにある Four-Way は「四つ^{つじ}辻」「四方に通じる」「四方向の」という意味です。Test は単数ですから、「四つのテスト」は「**四方向（多方面）から見た一つのテスト**」という意味合いです。4項目は独立した個々のチェック項目ではなく、全体として判断や言動の妥当性を問うています。

② 前文の邦訳は「言行はこれに照らしてから」ですが、原文にある think が訳されていません。事の是非を問うときに、「まず考える、そして判断する」ステップが欠かせないと思うのです。think という大事な単語が訳されなかったことは不思議ですね。

③ 項目2の FAIR は「公平」ではなく、取引上の「公正」さを示していると思われます。

④ 項目3の GOODWILL は、個人的な「好意」というより、（店や会社の）「信用」「評判」「のれん」を意味します。

⑤ 項目2と4の all concerned は、漠然とした「みんな」ではなく、「関係者すべて」。関係者とは、従業員、顧客、業者、取引先、株主等、その会社の事業に関わりのある人すべてを意味します。

いかがでしょうか。このように、英語原文と照らし合わせると、「四つのテスト」は元々一般的な人生訓を並べたものではなく、ハーバート J. テーラーが会社再建時に厳格に適用したビジネス上の倫理原則であったことがよく理解できます。このことから R I が、この「四つのテスト」を「行動規範」と共に職業奉仕の指針として大切にしてきたことが腑に落ちます。

すべての奉仕部門実践の基準として

R I 理事会は、この「四つのテスト」をロータリーの職業に対する姿勢を端的に表現する言葉として、1943 年正式に採択しました。そして 1954 年、テーラーが R I 会長に就任した時、「四つのテスト」の著作権を R I に移譲しました。

トンプソンさんの記事にもあるように、「このテストは、今日では奉仕部門のすべてにおける不可欠の要素」となっています。R I は、職業奉仕だけでなくすべての奉仕部門実践の基準として、「四つのテスト」を奨励しています。

例えば、ステファニー A. アーチック R I 会長は、2024 年 1 月の国際協議会で会長エレクトとして 2024 – 25 年度テーマの講演を行いました。その中で、「私が最も好きな平和構築の手段の一つに、『四つのテスト』があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう」と、「四つのテスト」の重要性に言及しています。

自分自身を振り返る鏡

2020 年 2 月 14 日、R I のウェブサイトの「ロータリーボイス」に、注目すべき投稿がありました。マーチン・ポスティック・ジュニアさん（米国オクラホマ州、OKC サンライズ R C）の『『四つのテスト』は他人を判断するための道具ではない』という投稿です。

マーチンさんは、「政治的・社会的な議論で自分の支持を表明したり、誰かの考えや発言、行動を批判したりするために、ロータリアンが『四つのテスト』を利用することがあります。意見が対立する双方の会員が、互いに『四つのテスト』を使って自分の主張を裏付けたり、相手をおとしめたりすることもあります（後略）」と、「四つのテスト」を拡大使用する風潮を憂え、警鐘を鳴らしています。「私たちは『四つのテスト』を通して他人を見るのではなく、自分自身の考え、意見、行動を考えるべ

きです。このテストは私たちが自分自身について判断するための鏡であって、他人を判断するための窓にはしてはいけません」

マーチンさんの言う通りですね。私もかつてあるロータリアンから、「あなたの行為は『四つのテスト』に反する」と非難されたことがあります。これはその人の誤解で、何らやましいことはなかったのですが、「四つのテスト」を他者の行為に向けるとき、その乱用の危険性に気付くべきでしょう。

「四つのテスト」は、自分自身、自分の会社、そして自分が所属するクラブの考えや活動の妥当性を判断する基準、わが身を振り返る鏡として使用すれば、トンプソンさんの記事にあるように、「今日の社会でも有効性を保持し、かつ実効性のあるもの」となるのではないのでしょうか。

（前橋 R C ・第 2840 地区 2013 – 14 年度ガバナー）

もっと知りたい？

マーチン・ポスティック・ジュニア

『『四つのテスト』は他人を判断するための道具ではない』
（ロータリーボイス）



ロータリーの友アーカイブから

ハーバート・テーラー「4つのテストの沿革」

（『友』1955年2月号）

訪日の思い出 元 R I 会長ハーバート J. テーラー

（『友』1959年11月号）

※本下期のパスワードは試験的に変更しません。上期と同様のパスワードで閲覧いただけます





END POLIO NOW

10月24日の世界ポリオデーにちなんで、日本各地でポリオ根絶への取り組みが行われました



@岸和田駅前

岸和田RC・岸和田東RC・岸和田南RC

毎年、2日間で60万人近い観光客が訪れる岸和田だんじり祭で、ロータリーの活動を知ってもらい、ポリオ根絶の寄付金も集めようと、ロータリーのロゴやEND POLIO NOWがプリントされたうちわを300枚配布し、寄付を募った。たくさんの観光客が立ち止まって広告を見てくれたり、海外からのロータリアンが声をかけてくれたり。多くの人にポリオ根絶を知ってもらうことができた。

(9月14～15日 第2640地区 大阪府)

@JITリサイクルインクスタジアム

甲府RC

プロサッカーチーム・ヴァンフォーレ(VF)甲府応援例会で、世界ポリオデー募金活動を実施。会場内にブースを設置し、サポーターにポリオ根絶PRチラシを配布。寄付者にVF甲府グッズの抽選を行った。試合のハーフタイムでは、会員一同でエンドポリオの横断幕を持ちスタジアム内を1周。多くの観客にポリオ根絶をPRした。(9月28日 第2620地区 山梨県)



@長万部町ファミリースポーツセンター 七飯RC

第60回長万部町総合文化祭に初出展。地区内クラブのバナーを2013～14年度の『ガバナー月信』の表紙を使って紹介した。会員は2019～20年度RI会長のテーマロゴが印刷された旗を再利用したはんてんを着て、ポリオ根絶をPRした。(11月2～3日 第2510地区 北海道)

@的ヶ浜公園

別府RAC

「行橋～別府100キロウォーク」で、ロータリアンの協力を得て飲食物を販売した。当日は、ポリオ根絶の募金箱も設置。収益の一部と寄付金をロータリー財団に寄付。また、地元大学で配布する生理用品購入の費用や、外国籍会員の母国のストリートチルドレンを救う団体への活動支援金にも充てた。(10月12日 第2720地区 大分県)





@成田市第二駐車場

第 2790 地区

4年目となる地区ポリオ根絶イベント。今年度は成田弦まつりでポリオ根絶祈願を実施。地区内会員約100人が集結し、END POLIO NOWのロゴ入りうちわ1,000枚を来場者に配布。また、昨年パキスタンを訪れた際の活動の様子をモニターで流した。ポリオ根絶啓発としては、迫力ある演奏や歌に合わせた圧倒的な書道パフォーマンスを展開。観客に感動を与えるだけでなく、会員にポリオ根絶を再認識してもらい、改めて意思統一を図った。(10月20日 千葉県)

@ JR浦和駅東口駅前

浦和東RC

クラブ創立55周年記念事業として、地元小学生と保護者約100人、さいたま市立浦和高校のインターアクター15人が参加し、ポリオ根絶ののぼり旗を掲げティッシュとチラシを配布し、寄付を呼び掛けた。参加者には事前にポリオに関する動画を見てもらい、当日もポリオの現状を説明、理解を深めてもらった。参加生徒には感謝状を贈呈。協力を得た地元サッカー少年団指導者協議会から「来年も参加したい」と感想があった。集まった寄付金は全額ロータリー財団に寄付した。(10月26日 第2770地区 埼玉県)



@ 茨城県筑西市役所開城支所

筑西きぬRC

相撲の掛け声「どすこい」と、特産品「梨(英語でPEAR)」の収穫を祝って行われていた「梨相撲」にちなんだお祭り「開城の祭典どすこいペア2024」にブースを出展。ロータリー活動を紹介する写真コーナーを設けた。会場はメインイベント・恒例ちびっ子相撲大会に参加するたくさんの子どもで大盛況。ブースにも多くの子どもが家族と一緒に立ち寄り、募金への協力があった。多くの人にロータリーの活動を広める1日となった。(10月6日 第2820地区 茨城県)

@ 蓬菜庵

第2580地区

世界ポリオデーに「ポリオ根絶チャリティー茶会」を東京・六本木の蓬菜庵にて主催。ポリオ根絶アンバサダーの尾身茂氏をはじめ、地区内外から約70人が参加し、机と椅子を使った立礼式で行った。掛け軸は、京都RCの千玄室会員揮毫の「独座大雄峰」、茶しゃくの銘は「手に手つないで」、お茶菓子は「END POLIO NOW」のロゴカラーである赤と黄色を用いるなど、ロータリーらしい工夫を凝らした。お点前中、地区ロータリー財団委員会、ポリオプラス委員会からポリオ根絶に向けた話があり、日本の伝統文化を堪能してもらいつつ、ポリオ根絶への思いも共有した。(10月24日 東京都)



— ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)共同企画

私のロータリーのマジック

11月号から始まったRPICと『友』による初の共同企画の最終回。
偶然や運命に導かれて、あるいは1人の喜びや悲しみから始まった、
ロータリーファミリーの「マジック」をお届けします。

マジックをこの先へ

茨木西RC(大阪府)
宮里 唯子

2011年のこと。東日本大震災の発災後、第2660地区内のクラブからは実に多くの義援金が寄せられました。どのようにしたら一番生きた使い方ができるだろうか、と思案した末、最終的にわが地区独自で被災地支援に取り組むこととなりました。

一方、ロータリー財団は、東日本大震災の復興支援にかかる財団補助金プロジェクトの審査と承認の権限を、暫定委員会「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会(日本委員会)」に移譲します。この決定は、「日本の災害支援は日本のロータリアンでなければできない」という強い信念とともに、日本のシニアリーダーが、国際ロータリーや財団と粘り強く交渉を重ねなければ得られなかった結果だと思えます。

こうした状況の中、私たちの地区の財団補助金申請第1号である、岩手県陸前高田市立長部小学^{おさべ}校へ、網戸とハエ取り紙を提供するプロジェクト

が始動しました。陸前高田市には多くの水産加工場がありましたが、地震と津波によって建物が壊滅的な被害を受けたことで、原材料である魚介類が広範囲に散乱したのです。それらが腐敗してハエをはじめとした多くの衛生害虫が発生しました。特に市立長部小学校は教室内に害虫が多く入り込んでいたため、気温が上がっても窓を開けられず、網戸とハエ取り紙を切望していました。

当時、地区災害支援プロジェクト委員を務めていた私は現地調査や事業成果の検証、日本委員会への補助金申請や最終報告書の提出など、この事業に関わる全てに携わっていました。その中でも忘れられないのは、網戸設置後の視察時に、先生方が涙を流されていたことです。甚大な被害を受けた故郷や親族や友達を亡くした子どもたち、そしてロータリーへの感謝の涙だったのだと思います。

日本のシニアリーダーの英断、全プロジェクト実施地を手弁当で訪問し、業務を全うした日本委員会の皆さん、先生方や子どもたち、そして網戸とハエ取り紙。これらの全てが「私のロータリーマジック」です。私は日本のロータリーが起こしたこの「マジック」を語り継いでいきたいと思っています。★

被災地から景勝地へ

下館さくらロータリー衛星クラブ（茨城県）
杉山 吉彦

1986年8月4～5日、台風10号の影響で集中豪雨が栃木県東部を襲った。24時間で300mmという記録的な雨量は小貝川に大洪水をもたらし、私の母方の祖母の自宅は浸水した。

この災害が起きたのは私が生後1カ月のこと。もちろん私に記憶はないが、写真で見た浸水したわが家を眺める祖母と母の「諦念とある種の悟りを帯びたまなざし」はやけに覚えている。この洪水は、思い出の品や写真などを奪っていった。だから、私は水にふやけたわずかな写真でしか、若い母の姿を知らない。

その後、政府主導の河川激甚災害対策特別緊急事業によって、五つの集落が高台（現在の筑西市旭ヶ丘）に集団移転。洪水の被害が大きかった集落跡地には、洪水対策として母子島遊水地が整備された。

1990～91年度下館ロータリークラブ（RC）の宅間美治雄ガバナー年度、この母子島遊水地に、地区年次大会記念事業として、ソメイヨシノを植樹することとなった。これをきっかけに下館RCは桜の植樹を継続。また、クラブで行う遊水地の清掃活動

に加え、現在の国土交通省や地元自治会と連携して環境整備を続けてきた。現在、この母子島遊水地は約300本の木々が立ち並ぶ桜の名所になっている。大洪水からおよそ40年。浸水した地域が市推奨の観光地になることを誰が予想できたろうか。これだけの長期間、整備事業を継続できたのは、地域に根差すロータリークラブの活動ならではだろう。

幼い頃から何げなく過ごしてきた場所が、「ロータリーのマジック」によるものだと思った時は、非常に感慨深いものがあった。私はこれからも下館さくらロータリー衛星クラブの一員として、下館RCと共にこの「マジック」を続けていきたいと思う。洪水は私から祖母や母の思い出を奪ったが、「ロータリーのマジック」はこの地を訪れた多くの人に思い出を与え続けるものだからだ。★



垣根を越える

かながわDEIRC（神奈川県）
梅津 貴陽

私はロータリアン3年目で、ロータリーについて知らないことばかり。そんな私でもロータリアン同士ですぐに打ち解けることができた時、「これはロータリーのマジックだな」と思わずにはいられません。

私が日頃、大切にしていることは、どこへ行くにもロータリーのバッジを着けること、積極的にメイクアップすること、SNS上で交流を図ることの三つです。

大人が交流する場合、一般的には名刺を交換して、さまざまな会話の中で相手の人となりを知る必要があります。しかし、ロータリアン同士は年齢、性別、肩書に関係なく、瞬時に打ち解けるこ

とができます。それどころか旧知の仲であるかのように交歓し、一気に本当の友情まで育むことも。

ロータリーソング「それでこそロータリー」ではないですが、「どこで会っても やあ と言」われたら、「よお！」と応える。交流を深め、多くを学ぶことが、いつしか人生の喜びにつながる。これこそ「私のロータリーのマジック」です。★

偶然は重なって

川崎RC（神奈川県）
九門 康之

私とロータリーとの関係は偶然、始まりました。

2012年、仕事の都合で中東に駐在していた時、アメリカ人の友人とランチの約束をしました。友人は時間通りに現れると「これからロータリークラブの例会に行こう」と誘ってきたのです。おそらく友人は、私との昼食と例会出席を両立させるため、こうした提案をしたのでしょう。

初めて参加した例会は、財閥の方や経営者に笑顔で話しかけられ、楽しいひとときとなりました。また、時折われに返っては「まるでアラビアンナイトの世界だな」と思ったことを覚えています。その「アラビアンナイト」に感激した私は、友人に推薦状をお願いし、アラブ首長国連邦・ドバイのジュメイラRCに入会しました。

入会后、新人ロータリアンの私に、アメリカ人女性がメンターとして付くことになりました。彼女は事あるごとに「ロータリーは私の人生」と言っているような人でした。

ある日、その彼女から「ネパール・カトマンズにあるエコファームという児童養護施設の支援プロジェクトを担当してほしい」と依頼されます。

当時、ジュメイラRCにはプロジェクトの担い手がおらず、私にそのお鉢が回ってきたのです。実はこのプロジェクト、ジュメイラRCにとって初の試みとなる国外事業でした。手探りでプロジェクトを進め始めた私は、当面の目標を「金額にかかわらず募金を集めること」「現地を訪問すること」に設定しました。

2014年10月。私たちジュメイラRC会員9人は集めた寄付金を持ち、カトマンズを訪れました。この時期はヒンズー教の新年を祝う「ディワリ」のシーズン。収穫の時期とも重なり、町には和やかな雰囲気が漂っていました。そんな中、私たちは意気揚々と施設を訪問したのですが、こちらの気持ちとは裏腹に、子どもたちの表情はどこか暗く、硬かったことを覚えています。

エコファームへの訪問は4年続きました。寄付金の合計は約1万7,000 USドル。施設のインフラ整備や子どもたちの教育などに活用してもらいました。年を重ねるごとに、子どもたちの表情は柔らかくなり、最後には自然な笑顔へと変わっていききました。

2018年、ジュメイラRCからは離れましたが、帰国後、2024年6月に川崎RCへ入会。私は再びロータリアンとなりました。

アメリカ人の友人とのランチが、カトマンズの子どもたちの笑顔につながったこと。これが私の経験した「ロータリーのマジック」です。★





夢の続きを

東京東江戸川RC(東京都)
嶋村 文男

「私の夢は母国ミャンマーの田舎の村に小学校を造ることです」

米山奨学生・モー トウザチョウさんが歓迎会で語ったこの一言によって、多くの出会いと感動が生まれることとなりました。

彼女の言葉を受け、私たちは現地の教育事情の調査を開始しました。その後、ミャンマーへ2度の訪問。そこでボランティアグループとの打ち合わせや建設候補地の選定を行いました。また、小学校建設資金の調達のために、チャリティーコンサートを開催するなど、クラブ一丸となって前進しました。彼女の夢は、いつしか私たちの夢になったのです。

モーさんの歓迎会から1年と8カ月後の2018年2月10日。ミャンマー・バゴ州ティーテエー

村で、抜けるような青空の下、私たちは開校式に参加していました。ローターアクト4人を含めた私たち20人を、村の住民およそ150人が温かい笑顔と大きな拍手で迎えてくれました。式は滞りなく進み、モーさんが子どもたちを前に謝辞を述べます。途中、モーさんの声が震え始めました。

「今日、私の夢がロータリーの協力でかないました。皆さんもこの学校で学び、夢を持って立派な大人になってください」

夢がかなったことを実感し、感極まったモーさんは、大粒の涙を目にたたえて、子どもたちにそう語りました。

モーさんと私たちの夢が、小学校の子どもたちにつながる瞬間こそ「私たちのロータリーのマジック」であることを実感しました。

その約3年後の2021年2月1日。ミャンマーでは国軍によるクーデターが勃発。現在も国民には大きな犠牲が強いられています。あの日見た子どもたちが夢を持ち、いつの日かモーさんのように夢を語れる平和な日々が訪れることを願って、私たちはこれからも支援を続けていきます。★

ポリオ患者の少年

三島RC(静岡県)
渡邊 脩助

話は60年ほど前にさかのぼります。当時、私は東京大学医学部附属病院で勤務しており、タイのポリオ患者の少年の手術を担当しました。手術は無事に成功し、彼の回復を見届けることができました。

その後、私は神奈川の湯河原厚生年金病院(現JCHO湯河原病院)での勤務を経て、東京に帰郷することに。1973年に湯河原RCに入会もし、先輩ロータリアンや多くの患者さんからは三島市での開業を勧められましたが、勤務医の私には開業資金はありませんでした。そんな私が、最終的にこの地で開業を決めたのは、三島から眺める富士山の雄大さに感激したからです。皆さんのお力添えもあり、何とか開業から3年後には無菌手

術室を完備した新病棟を増築。整形外科専門医院として充実した医療体制を整えることができました。

そして、1976年に現在所属する三島RCへと移籍します。時は流れて2012年5月、私はクラブのメンバーとロータリー国際大会へ参加すべく、タイ・バンコクを訪れました。その会場で突如、「あなたはドクター・ワタナベですか？」

と声をかけられました。声の方を見ると、タイのロータリアンが笑みを浮かべて、私を見つめています。話してみるとそのロータリアンは、かつて私が手術を担当したポリオ患者の少年だということが分かりました。思いがけない再会と立派なロータリアンに成長した姿に、言葉にしがたい深い感動を覚えました。

「ロータリーのマジック」は人の心を引き付けてやみません。私はこれからもこの「ロータリーのマジック」を胸に、仲間と共にロータリー活動を行い、ささやかな「マジック」を地域の皆さんに届けていきたいと思っています。★

1953年創刊の『ロータリーの友』。正直、私はあまり読んでいなかった。悲しいかな、そんなロータリアンも多いことだろう。以前、どうすればみんながもっと読むようになるのかと考えて、とりあえず投稿してみた。その投稿が偶然、掲載されて、例会中にみんなで読んだ。このどこか懐かしいうれしさ、何かに似ている……。そうだ！ ラジオ番組「オールナイトニッポン」だ！ 夜中にラジオから流れてくる軽快なテーマソング、DJに投稿が読まれた時の胸の高鳴り、貴重なお小遣いで買ったたくさんのはがき、読んでもらおうとして考えたさまざまな工夫……。そのどれもが青春時代の淡い思い出だ。

現在、私たちのクラブでは『友』へ積極的な投稿を呼びかけている。投稿をしたらみんなで拍手。掲載されたらもっと大きな拍手。すると、毎月の購読が楽しみになってくる。投稿が目的ではない

マジックの予感

岩内RC(北海道)
成田 賢一

が、クラブ活動への取り組みも自然と力が入ったような気がしている。

現代はスマホ一つで世界中とつながることができ、多くのものがレディーメイドな時代だ。だからこそ、私がかつてはがきに施したような少しの工夫を凝らすことが大切だと思う。このささいな工夫が大きな変化となり、やがて「ロータリーのマジック」になっていくのかもしれない。

以上、いささかセピア色じみた時代遅れな話かもしれないが、ロータリアンだけでなく、今の子どもたちにも聞いてもらいたいなあ。★

抱き続けた思い

鹿児島東RC(鹿児島県)
原田 祐子

45年ほど前でしょうか。当時、中学生だった私はボランティア活動として、鹿児島市の児童養護施設を何度も訪れていました。ボランティアを通じて特に仲良くなった子どもに「何かできることをしてあげたい」という思いから、母に「うちの子にしたい」と持ちかけたこともあります。母からは「うちで商売もやってて、あなたを育てるのにもお金がかかるから無理無理」と断られました。以来、でもいつかは、という施設の子どもたちへの思いが、私の心の中に強く残り続けました。

そして2015年、私はロータリーに入会しました。その理念を学ぶうちに、奉仕活動へ強い関心を持つようになりました。その中で、ロータリー財団の地区補助金制度を知った私は、この制度を

担う人としてかつてボランティアを行った児童養護施設を訪問。寄贈の提案をしたところ、快くベッドマットやパソコンなどを受け取ってもらえました。また、23年のクリスマスには、クラブの会員たちとサンタやトナカイの格好をして、図書券を届けに行きました。子どもたちが笑顔で「ありがとう」と感謝しながら喜んでいる姿に、心を打たれました。

中学生時代から抱き続けていた子どもたちへの思いが、ロータリーに入会したことや皆さんとの協力によって形にできたというのは、まさに私の「ロータリーのマジック」です。ロータリーの活動を通じて見た、施設の子どもたちのたくさんの笑顔は、私の人生で決して忘れることができない素晴らしい光景です。

これからもロータリーの活動を通じて、未来を担う子どもたちの笑顔のために、さまざまな活動を続けていきたいと思います。★



Campus & Diary



古きも新しきも織り込んで、未来を紡ぐ

チャン
張 ジャリン
家翔 さん

台湾出身 / 2024 - 26 / 京都イブニングRC

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 芸術専攻

上の写真は、お気に入りの漫画のキャラクター「フェルン」になり切った私。

難しいのは日本人との距離感

子どもの頃から、日本文化が好きでした。2014年に初めて旅行で日本に来たときは感動しました。その後、来日するたびに将来は日本で学び、体験したことを台湾の人に伝えたい、との思いが募っていきました。

そして、2019年に日本へ留学。ま

ずは京都の専門学校で和菓子作りを2年間勉強しました。その後、着物が好きな私は、着るだけではなく、現代の生活に合った着物を創作したいと思い、嵯峨美術大学大学院へ進学。伝統が息づく京都の嵐山で勉強できるのも魅力的でした。

日本で生活を送るうちに気付いたのは、友達との距離感。私は、自分がで

きることを何でもしてあげて、互いに良い影響を与えられるのが友達だと思っています。しかし日本では、それがお節介^{せっかい}とも取られて、相手にストレスを与える要因にもなるようです。あとは、言葉をそのまま鵜呑^{うの}みにできないこと。「台湾に行きたい」という言葉一つとっても、本当に行きたい場合と、私に気遣った場合とに分かれます。心中を測るのはなかなか難しいですね。

反対に、台湾ととても似ているのは、手土産の文化。誰かのおうちに行くときに手土産を持っていく習慣は、とても親近感が湧きます。

生活を豊かにする多彩な趣味

日本で暮らしていると、故郷の味が恋しくなるときがあります。そんなときのために、台湾の調味料などを使っ

日本に暮らす米山奨学生たちの声を届けるシリーズ。来日時の日本の印象や、現在の生活、将来の夢などを語ります。今回の語り手は……

series 03



① 各地の織り布を見るための旅と、趣味の写真撮影を兼ねて
② 大学の駐輪場から見た嵯峨野の山と空 ③ 卒業制作を撮影
④ 故郷の味を楽しむ張さん ⑤ 卒業制作で織った布 ⑥ 日常の一端。自炊した料理もパシャッと撮影

て、自分で台湾料理を作れるようになりました。和食作りも頑張っています。焼き魚やみそ汁も、いい感じにできるようになりました。もちろん和菓子も作れます。今では「趣味は料理です」と堂々と語れるまでになりました。

実はコスプレが大好き。台湾でもずっとやっていた。ゲームの世界にあるような、ファンタジックな作品が好きで、日本の漫画&アニメ『葬送のフリーレン』が最近のお気に入り。この作品に登場する「フェルン」にも挑戦しました。

写真撮影も趣味の一つです。人生初の一人旅で東北を巡った際は、出会った日本人たちにとっても親切にしてもらい、最高の思い出となりました。高知県や広島県も訪れ、その風情ある景色を写真に収めました。

古い着物を再評価して生かす

私は今、着物の再利用と工芸技術について学んでいます。日本のアンティーク着物には、現代ではあまり見られなくなった柄や素材、技が見られます。そうした着物と出合うたび、職人さんの愛を感じますし、着ていた人の思いが宿っているように感じます。

着物市場が縮小する中、新しい着物を作るばかりでなく、かつて愛された着物の新たな価値を生み出し、多くの人に愛用されるような道を開けないかと考えています。

アンティークの着物を反物や糸に戻し、織り直すこと。素材の特長を生かし、現代の感覚と伝統美と実用性を調和させることが目標です。そしてオリジナルの織り布にまとめ、最終的には

着物ばかりでなく、現代の服飾製品としても仕立てていければ。

将来の目標は、自分のブランドを立ち上げること。その時は服飾に限らず、衣、食、住と生活全般に関わる製品作りに携わりたいと思っています。



※米山記念奨学事業、「よねやまだより」への問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで

Tel : 03-3434-8681
Fax : 03-3578-8281
E-mail : mail@rotary-yoneyama.or.jp
Web : www.rotary-yoneyama.or.jp



People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』1月号から

イギリス

レディング・マティンズ・ロータリークラブ(RC)は昨年6月、トラクターや蒸気ローラー、ペニー・ファージング(前後の車輪の大きさが異なる自転車)など、120台のビンテージ車両を一堂に展示し、募金活動を行いました。この「Transport Through the Ages」は女王エリザベス2世即位60周年記念時や、チャールズ3世戴冠式の祝賀会で行われた同様のショーから発案。約4,000人が訪れ、1万3,000ドル(約200万円)以上が集まりました。会長のバレリー・ロビンソンさんは「私たちが力を入れているチャリティーに多くの寄付が集まり、うれしく思います」とイベントの成功を喜び、会員のキャリー・ワイズさんも「今後も続けていきたい」と意気込みを語りました。



905,000 台余

2023年にイギリスで製造された自動車台数

インド

昨年8月にインド北東部のトリプラ州で洪水や土砂崩れが起きたことを受け、アガルタラ・シティーRCと近隣の二つのロータリーアクトクラブが支援活動に乗り出しました。アガルタラ市内に救援キャンプを設置し、約400人に食料、衣類、医療、医薬品を提供。続いて被害を受けた遠隔地の村で、125世帯に食料と生理用品を配布しました。「村人たちは全ての持ち物を失いました。農場と農作物もです」とアガルタラ・シティーRC会員のアナンニャ・ダスさん。また、会員を含む専門医のクリニックも開設しました。

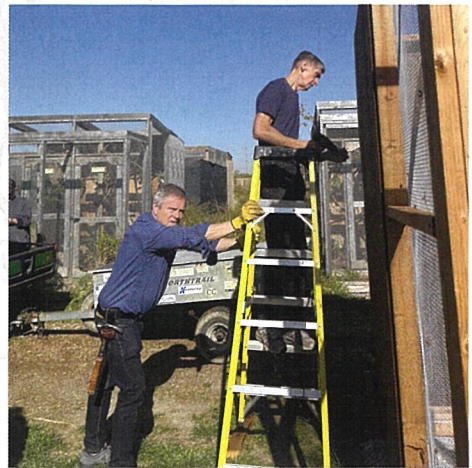


2,000 億ドル以上

2023年に世界の自然災害でもたらされた被害の推定総額

カナダ

トロントRCは2020年以降、病気やけがをした300種以上の動物を保護する、トロント野生動物センターを支援。動物の囲いを造るために、1万8,000ドル（約270万円）以上を寄付してきました。昨年10月、会員のカート・クローセンさん、スチュアート・マイアーヘッドさん、ミシェル・ガイさんはハンマーとドリルを手に、ボランティアや従業員と共にアカリス用の囲いを組み立てました。同センターの創設者で事務局長のナタリー・カルボネンさんは「動物たちが安全な場所で回復し、野生に戻れるよう、ロータリアンの皆さんから多大な支援を頂いています」と、その献身的な活動に感謝を述べました。



6,000 匹

トロント野生動物
センターで毎年治
療される動物の数

フィリピン

カルンピット・ローターアクトクラブ（RAC）は、障害のある若者の支援に取り組んでいます。その一環として、障害者の権利と課題についての啓発をウェブ上で発信。昨年8月には、カルンピットRCの会員と一緒に小学校を訪ね、障害のある児童160人に衛生キット、医薬品、学用品を提供し、読み書き、美術の指導も行いました。「この活動は非常に好評



12%

15歳以上のフィリ
ピン人のうち、重
度障害者の割合

で、特に保護者向けのセッションは好評でした。母親が経験を紹介し合い、子どものメンタルヘルスと心理的ニーズについて情報交換できる場となりました」と、カルンピットRAC会長のダニエル・バリンギットさん。

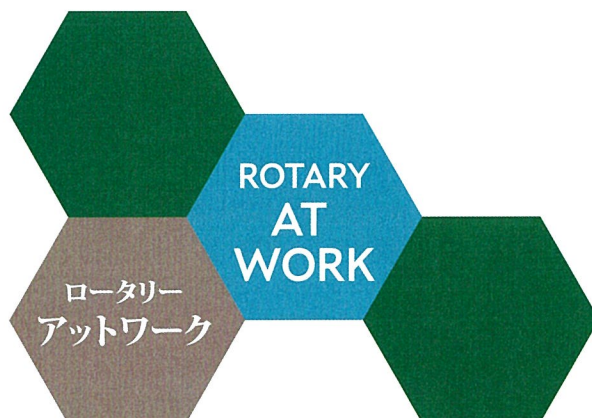


アメリカ

ルイジアナ州ニューオーリンズの地名は、「新しいオルレアン」の意味を持つことから、2018年、フランスの都市オルレアンと姉妹都市協定を締結。以降、両都市のロータリークラブも独自に交流を深めてきました。そうした中、フランスの国民的英雄、ジャンヌ・ダルクの祭典が予定されていると知ったニューオーリンズRCは、パレードなどに参加するジャンヌ役を地元の高校生から選出。オルレアンのクラブと協力し、両都市の“ジャンヌ”の交流の機会を設けることにしました。昨年6月、まずはアメリカ側のジャンヌ、マリー・マルサリスさん（著名なジャズミュージシャン一家の一員でピアニスト）がオルレアンを訪問。その後、フランス側のジャンヌ、マイリス・ボエさんがニューオーリンズへ。2人のジャンヌは各都市の祭典でパレードに参加。ニューオーリンズRCのサラ・ディカーソンさんは「こうした活動はワクワクしますし、この交流を通して、絆が一層深まります」と話しています。

1920 年

ジャンヌ・ダルクが
正式に聖人として
列聖された年



デジタルの困り事 私たちに任せて！

紋別高校 I A C

第 2500 地区・北海道

私たちの生活はインターネットと切っても切り離せないものになってきました。それと共にスマートフォンなどのデジタルデバイスの使い方も目まぐるしく更新され、特に高齢者など、変化に対応しきれない人が増えています。こうした現状を踏まえ、紋別 R C 提唱の紋別高校 I A C は、2023 年から紋別市教育委員会と連携、デジタルリテラシー向上を目指し、スマートフォン・タブレット型端末の操作や、活用法についての相談会を定期的に行っています。この相談会はデジタルデバイド（情報格差）の解消だけでなく、講師役の生徒と高齢者が社会的につながる場としても機能しています。

第 6 回の相談会は、高齢者に気軽に参加してもらうため、2024 年 9 月 22 日に紋別市民会館で行われた「公民館まつり」の一環として実施。現代に欠かせないコミュニケーションツールであるグループチャットアプリ（LINE など）の操作や、ペーパーレス化が進む公共料金の請求書をインターネットで見るための方法など、参加者の「デジタルの困り事」に、インターアクターがマンツーマンで応じ、丁寧に教えていました。

講師役を務めたインターアクターの一人は「最初はデバイスの正しい使い方を教えられるか不安だったけれど、相談会をきっかけにデジタルデバイスの新たな機能を知ることができて、勉強になった」「スマホで分からないことがあったら気軽に聞いてほしい。複数回参加するうちに顔なじみになる参加者

もいるほど。相談会に来て雑談するだけでも意義があると思う」といった声が聞かれ、インターアクターと高齢者の双方に良い影響が見られました。

近年、セルフレジの導入が進み、高齢者からは買い物に行きづらくなったという声も。情報社会から置いてけぼりになる人をなくす取り組みは、高齢者のみならず、全ての人の尊厳を守るために必要です。また、こうした活動は高齢者の社会参加を促すものとして、今後、ますます重要になることでしょう。

この相談会は困っている人に寄り添い、さりげなく助け合う、優しい社会実現への足掛かりのように思えます。こうした世の中の実現に向けて、率先して一步を踏み出すことが大切だと改めて感じました。



青少年の国際理解を促す周年記念

呉東RC

第 2710 地区・広島県

当クラブは11月9日、呉市入船山記念館^{いりふねやま}で創立65周年記念イベントを開催しました。

会場の入船山記念館と当クラブとの縁は深く、創立20周年時には記念事業として国の登録有形文化財「旧東郷家住宅離れ」の移築を、創立60周年時には敷地内の「旧呉海軍工廠塔時計」^{とうしようち}を整備するなど、節目節目で関わってきた特別な場所です。

周年記念イベントでは、クラブのビジョン声明「未来を担う青少年の育成と国際理解に、最も力を入れているクラブ」に立ち返って、若者たちの文化発表・国際交流を目的とした催しを開きました。

当日は呉工業高専ⅠACとアジアからの留学生を招いて、合同例会を実施。タイやマレーシアから来た留学生たちに母国の紹介をもらい、インターアクターに世界を身近に感じてもらいました。その後、前年度の例会の外部講師で、G7広島サミット^{せんちや}でお点前を披露した清水ヶ丘高校茶道部の先生と生徒から煎茶を入れて



もらいました。また、催しに併せ、会場では若者たちと合同でポリオ根絶のための募金活動も行いました。

若者たちが他国の文化に触れることで、日本の文化と国際理解を促す良い機会にもなったと思います。

津島芸術を次世代へ

津島RC

第 2760 地区・愛知県

当地には江戸時代まで「尾張一」と称され、木曾川^{みなとまち}による水運流通で栄えた湊町・門前町があります。多くの文化財や芸術作品が残されていますが、残念ながら地域の人にもあまり知られていません。そこでクラブは11月2～10日、地区補助金を活用し、郷土の芸術家を顧みる展示会「津島芸術の温故知新～郷土を知る～」を開催。特に津島神社で行われた計5回の講演会には多くの来場者がありました。今後も歴史を学び、若者へ啓発活動を行うことで未来へつなげ、地域の発展に寄与していきたいと思っています。



認知度UPで新たな仲間を

堺清陵RC

第 2640 地区・大阪府

10月20日、当クラブは「第51回堺まつり」に合わせて、「こどもパワーフェスタ」を開催しました。目的は子どもも大人も楽しんでもらいながら、私たち堺清陵RCについて知ってもらうことです。

イベントでは、大阪府警の音楽隊による演奏や元タカラジェンヌ・麻樹ゆめみ氏によるコンサートなどを実施。来場者は臨場感たっぷりの演奏に大きな拍手を送っていました。これからもクラブの認知度向上を図りつつ、新たな仲間を増やしていこうと思います。

スポーツで児童養護施設間の交流を

長崎出島 R C

第 2740 地区・長崎県

当クラブは児童養護施設で暮らす子どもたちへの支援を積極的に行っています。10月27日に開催した「長崎県スポーツ・レクリエーションフェスタ」もその支援活動の一環で、今回で16回目の実施となります。当日は長崎市、島原市、大村市にある六つの施設から、49人の小学生が参加してくれました。

初回の開催は2006年。さまざまな理由で、家族と一緒に住むことができなくなった子どもたちの体力向上や施設間の親睦を願っての企画でした。当初はイベントに関するノウハウがなかったため、企画・進行を外部に委託していましたが、「この事業はロータリアンが主体的に取り組むことに価値がある」との声がクラブ内で上がり、以来、クラブ主導で回を重ねています。

イベントは、基本的に施設対抗戦で競技を実施。時には施設の先生にも参加してもらうなど、工夫を凝らしています。その中でも順位が決まる最終競技「施設対抗レース」は毎回、大盛り上がり。イベントに参加してくれた子ども



たちには賞品として、みんなで遊べる遊具を順位に応じて授与し、それぞれの施設に持ち帰ってもらっています。

クラブとして、これからも児童養護施設で暮らす子どもたちに寄り添う活動を続けていきます。



市内全ての子ども食堂に お米1年分を寄贈

仙台 R C

第 2520 地区・宮城県

子ども食堂は、現代に必要不可欠な「子どもたちの居場所」であり、持続的な運営が求められます。そこでクラブは、仙台市内79カ所の全ての子ども食堂に「主食となるお米1年分」を寄贈。その総量は、約5トンになりました。10月8日の贈呈式では多くの取材を受け、事業を大きく取り上げてもらいました。子ども食堂の現状と課題の周知に加え、ロータリーのイメージ向上にも一役買うことができました。

真っ赤なリンゴ 上手に収穫できるかな？

鯉ヶ沢 R C

第 2830 地区・青森県

10月15日、当クラブは鯉ヶ沢町内にある四つの子ども園・保育園の年長児24人を招いて、リンゴ収穫体験会を初開催しました。子どもたちに町の基盤産業の一つであるリンゴの栽培に関心を持ってもらうことを目的に、会員の果樹園で実施しました。

子どもたちはリンゴの収穫方法を教わると、真っ赤なリンゴを友達と一緒に夢中でもぎ取っていました。

農家の後継者不足が叫ばれていますが、子どもたちの中から未来のリンゴ農家やそれをサポートする人材が現れることを期待します。





古地図で故郷を知ろう

広島城南RC

第 2710 地区・広島県

当クラブは 10 月 31 日、広島市立本川小学校の 6 年生を対象に「ひろしま歴史再発見 出前授業」を実施。広島城の学芸員を招き、広島古地図を広げ、史跡や街道などについて解説してもらう授業を展開しました。

原爆投下によって、広島市内からはかつての城下町らしい景観は消えてしまいました。しかし、古地図を見ることで、この町の歴史やそこに暮らしていた人たちの営みを深掘りできます。未来を担う子どもたちに、故郷への関心と愛着を持ってもらえることを期待します。

青少年の国際理解を促進

草津RC／聖パウロ学園光泉カトリック高校 IAC

第 2650 地区・滋賀県

11 月 3 日、当クラブは聖パウロ学園光泉カトリック高校 IAC と共に、草津市内のホテルで「第 4 回草津 RC 杯英語スピーチコンテスト」を開催しました。スピーカーとして参加した小中学生 61 人は、聴衆を前に緊張しつつも元気いっぱいに発表を行い、練習の成果を発揮。

また、市内の高校教師を招いて国際理解にまつわるクイズも実施。会場は和やかで楽しいムードに包まれました。

青少年が英語に親しむ機会を提供できた、有意義な 1 日となりました。



「はたらく車」の体験で笑顔に

富津シティRC

第 2790 地区・千葉県

10 月 27 日、富津公民館で「富津市民文化祭 2024 子どもまつり」が開催されました。この祭りでは、各団体が協力して子どもたちが 1 日中楽しめるよう、プログラムが組まれています。富津の中高生による吹奏楽の演奏をは

じめ、パン作りやドローンなどの体験コーナー、フリーマーケットや模擬店などがずらりと並び、どれも大盛況となりました。

当クラブは毎回参加しており、今回は「はたらく車の展示」「能登半島地震災害募金活動」「ポリオ根絶のための募金活動」などを行いました。特に「はたらく車の展示」は好評で、当クラブ会員の企業から提供された 2 台のショベルカーに子どもたちは大はしゃぎ。運転手から簡単な説明と乗車サポートを受けて運転席に座ると、子どもたちは生き生きとした表情でレバーやハンドルを握っていました。その様子を保護者が写真に収めるなど、いい思い出作りの機会を提供することができたと思います。

その体験の受付には、募金箱を設置。多くの子どもたちが寄付をしてくれました。この浄財は後日、義援金として石川県に送りました。

子どもたちの明るい笑顔に、富津市の明るい未来が重なったような 1 日となりました。



2024 - 25 年度 地区大会略報

II



第2560 地区

2024 年 10 月 19 ~ 20 日
アオーレ長岡ほか
ホスト 長岡 R C

南雲博文がバナー チュウウエンリー 台湾から邱文麗 R I 会長代理を迎え、地区運営方針「ロータリーはステージ、みんなが輝く」を目標に、長岡市で開催しました。南雲ガバナーは自ら提唱、導入した合同公式訪問の成果などを紹介。佐渡市出身の文化功労者で、日展理事長の宮田亮平氏による記念講演「夢を探そう!!」では、現代工芸美術の軌跡をたどりしました。アトラクションでは、南雲ガバナーと地元の長岡大手高校書道部が書道パフォーマンスを披露。南雲ガバナーが「舞台上で輝く」と大書すると会場は大いに盛り上がりしました。



第2780 地区

2024 年 10 月 19 ~ 20 日
大和市文化創造拠点シリウスほか
ホスト 大和田園 R C

佐々木辰郎ガバナー「ロータリーのマジックを行動で示そう!」を掲げ、菅原裕典 R I 会長代理を迎えての開催。佐々木ガバナーは「実践を学び心に刻む行動によってマジックの実践ができる」と語りました。元 R I 理事・千玄室氏の記念講演「ロータリーの居場所」では、奉仕の実を知ることの大切さを力強く訴えました。アトラクションの、大和市雅楽協会による雅楽演奏で、会場の雰囲気はみやびな平安時代にタイムスリップ。ロータリーファミリーが多くの感動と学びを共有し、交流を深めた大会でした。



第2840 地区

2024 年 10 月 19 ~ 20 日
美喜仁桐生文化会館ほか
ホスト 桐生 R C

森 末廣ガバナー 地区スローガン「会員一人一人が主役、つながりを広げ、さあ行動しよう」の下、環境問題について理解が深まるよう企画。基調講演では、石原良純氏が地球温暖化への警鐘を鳴らしました。講演「これからのロータリーを考える」をはじめ足立功一 R I 会長代理の話は関心を集め、一同大盛り上がり。ロータリーファミリー紹介では、民俗衣装をまとった米山奨学生がずらりと並んだ姿は壮観でした。エクスカッションでは電動コミュニケーションバス「MAYU」で桐生市内巡り。大会は成功裏に終わりました。



第2710 地区

2024 年 10 月 26 ～ 27 日
岩国国際観光ホテルほか
ホスト 岩国 R C

上田文雄ガバナー 初日に催された中川基成 R I 会長代理夫妻歓迎晩餐会は、韓国の友好クラブとの交流で楽しいひとときに。翌日の本会議での記念講演「サイボーグ時代の人生戦略～人から必要とされ続ける未来の生き方～」では、(株)オリィ研究所所長の吉藤オリィ氏が、障害者でも分身ロボットの力を借りることで、仲間と共に働く喜びを実感できると語りました。懇親会では岩国藩鉄砲隊保存会の演武を実施。ガバナー信条「行動しよう、未来のために。」の通り、未来に向け「私たちは何をすべきか」を考え、学ぶ機会となりました。



第2730 地区

2024 年 10 月 26 ～ 27 日
ホテル京セラほか
ホスト 加治木 R C

笹山義弘ガバナー 地区スローガン「ロータリーのマジックでロータリーを楽しもう」の下、1,000 人を超える会員が地区内外から集いました。1 日目、地区指導者育成セミナーでの、中谷研一 R I 会長代理の講演「国際協議会からみた国際ロータリーの方向性」は、本会議での R I 現況報告と併せ、有意義な内容でした。2 日目、地元出身のプロ野球選手・川崎宗則氏による「かごつま弁(鹿兒島弁)」を使った講演は、プロ野球日本シリーズ開催中ということもあり、大変な盛り上がりを見せました。



第2530 地区

2024 年 11 月 2 ～ 3 日
郡山ユラックス熱海ほか
ホスト 郡山北 R C

早川敬介ガバナー 大会中、飯村慎一 R I 会長代理は「ロータリーの公式標語『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』が基本理念となれば、企業の繁栄につながる」と講話。また、記念講演「弱小チームからワールドカップで勝つまで」で、元ラグビー日本代表で地元出身の大野均氏が「子どもたちが憧れるような日本代表として、桜のユニホームを着ていた」と語れば、飯村氏は所感の中で、「私たちの行動が、一般の人たちをロータリーに入りたいと思わせる」と呼応。早川ガバナーからは、7 月から 9 月末で 55 人の会員増強との朗報も伝えられました。



第2740 地区

2024 年 11 月 8 ～ 9 日
シーハットおおむらほか
ホスト 大村 R C

石坂和彦ガバナー 地元プラスバンド・OMURA キッズプラスに加え、地区テーマソング「ローリエ」を歌う地元在住歌手・タナカハルナ+大村少年合唱団による、若々しく爽やかな旋律で佐藤芳郎 R I 会長代理を歓迎。記念講演会は、児童養護施設出身モデルとして活動する田中れいか氏を座長に、先天性四肢欠損症として自らの経験を発信する佐野有美氏、園田裕史大村市長、石坂ガバナーが登壇し、「『歩き続けよう』みんなで支え合う社会づくりのために～」と題して熱く語り合いました。つながりを懇親会で深め、大会は閉幕しました。

平和と人権ウィーク

ロータリーが、大阪・関西万博 テーマウィークパートナーに！



宮里唯子

大阪・関西万博
関連事業実行委員会／
第2660地区・
2022-23年度ガバナー

国際ロータリー(RI)第2660地区はRIの協賛を得て、EXPO2025大阪・関西万博の“テーマウィーク”に参加します。「いのち輝く未来社会」から派生した8つのテーマに基づき、対話によって地球規模のさまざまな社会課題の解決策を探るイベントで、当地区では「平和構築と人権擁護」をテーマにロータリー学友で、国際機関などで働く現役若手職員が「平和構築と人権擁護」についてそれぞれの体験を発表、来場者との質疑応答や複数の課題を経て解決策を模索、未来への提言を発表

します。その様子は、オンラインにて配信予定。ロータリアンの皆さまはもちろんのこと、将来を担う若いロータリーファミリーにオンラインでのご参加を呼び掛けてくださいますようお願い申し上げます。なお各プログラムの映像は万博のレガシー(遺産)として残されます。

またプレイベントとして、当地区で2025年3月に開催されるローターアクト全国研修会で登壇者のうち2人のオンラインによる「平和構築と人権擁護」の実体験や報告を予定。こちらも多くの方の視聴をお待ちしています。

青少年の提言「平和構築と人権擁護」 アジェンダ2025 参加プログラム

パネリスト



バッテリー亜夢斗

在カブール国連アフガニスタン
支援ミッション本部



百瀬雄太

国際労働機関
アジア太平洋総局(バンコク)



山口真理子

外務省
国際協力局国別開発協力第三課



渡辺 葵

世界保健機関(WHO)



マリオ・セザール・
マルティンス・デ・カマルゴ(予定)
2025-26年度国際ロータリー会長



中井伊都子

甲南大学学長
国際人権法学会理事

モデレーター

🕒 2025.8.1 Fri.

9:30~16:30 (10時放映予定)

※変更となる可能性があります。
詳しくは HP をご確認ください

📺 ONLINE

[公式]大阪・関西万博
テーマウィーク

第2660地区
関連ウェブサイト



theme-weeks.expo2025.or.jp



ri2660-expo.com



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



国際ロータリーは大阪・関西万博テーマウィークパートナーです。

地域社会を巻き込んだ活動で、エコキャップ運動を推進

創立：1969年6月24日

会員数：10人

例会日：第2・4水曜日 19:30～20:30

スポンサークラブ：姫路RC

(第2680地区 兵庫県)



①②会員で、集めたペットボトルのキャップを洗って乾かします ③例会場で。ロータリアンとポリオ根絶を目指します

姫路RACは、兵庫県下で一番歴史のあるクラブで、昨年、創立55周年を迎えました。学生から社会人まで会員の年齢層は幅広く、インターアクト出身やRYLAセミナー参加者など、多彩な経歴を持つ会員が集まって例会や活動を行っています。

例会出席率が高く、献血活動など会員一人一人のやりたいことを実現できるのがクラブの強みです。中でも、ペットボトルキャップ回収を通じて世界の子どもたちへポリオワクチンを届ける「エコキャップ運動」は、現在の姫路RACの代表的な活動です。2020年以降、コロナ禍により活動が制限される中、いつでも、誰でも、どこでもできる活動として、このエコキャップ活動を本格的に始めました。個人や企業、学校などで集めていただいたペットボトルキャップを当クラブが回収、キャップ以外の不要なものが交じっていないかを確認・洗浄後、回収業者に運搬します。その後、リサイクル業者へ資材として売った際の売却対価がワクチン代に代わります。

ロータリーだけでなく、地域の企業や学校などさまざまな団体から協力を得て、これまでに集めたキャップは、約27万8,000個。これは231人分のワクチンに相当します。このエコキャップ運動を通じて、地区内のロータリーファミリーと交流する機会となり、私たちの奉仕活動の幅が広がるきっかけにもなりました。今後もこの活動は継続していく予定です。

今後の課題は、①会員増強のアプローチの方法を考える、②例会内容のマンネリ化を防ぐ、③企画力を上げる、が挙げられます。課題を意識しながら、より活発な魅力あふれる姫路RACにしていきます！

(姫路RAC 八原 千尋)

POINT

エコキャップ運動で、ロータリーのポリオ根絶活動を外部にアピール

Let's Collaborate

Mail : himeji2680@gmail.com



facebook



Instagram

あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

学びを社会貢献に生かす

元ローターアクト 坂上 卓史

大学院時代、縁があって名古屋熱田RACと出会い、入会しました。それから30歳で卒業を迎えるまでの5年半、クラブ会長や地区代表、アジア環太平洋地域での国際大会や、インドでのポリオワクチン投与活動など、幅広い経験をしました。

ローターアクトでの最大の学びは「多様性の受容」です。自分と異なる考えの人と出会った時、相手を受け入れ難い気持ちになるのは人間の性だ^{さが}と思います。その際、異なる考えを排除するのではなく、新しい視点として受け入れ、建設的な考え方や議論を進めていくことが重要だと実感しました。

私にはローターアクトで得た学びが社会生活で通用することを証明したい、という思いがありました。そこで、大学院卒業後に立ち上げた出版ビジネスの経験とロー

ターアクトでの学びを生かして、地域で業界大手のWeb制作会社に入社しました。

入社後、学びを実践することで、毎年順調に昇進していきました。そして2年ほど前、創業社長の急逝を機に、私を含む4人の管理職で事業を承継。現在は役員として、経営とプロデュース業務に励んでいます。

ローターアクトでのさまざまな経験と、それらを通じて学んだ「多様性の受容」をビジネスに生かし、社会に貢献する。私の初心ともいえるこの気持ちを忘れることなく、日々精進していこうと思います。

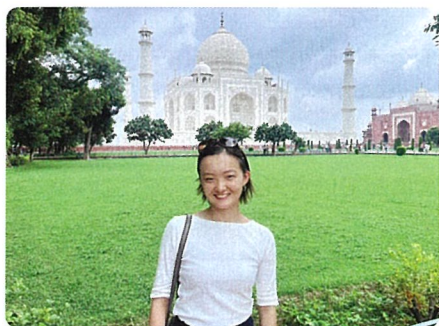


愛知県出身。名古屋工業大学大学院卒。(株)テラ取締役兼プロデューサー。元名古屋熱田RAC会員。趣味は「マジック：ザ・ギャザリング(戦略トレーディングカードゲーム)」、筋トレ、キャンプ。

シチリア島で夢を抱いて

ローテックス 森田 陽湖^{ようこ}

私の夢は、インドをはじめとする南アジア地域の政治・経済分野の専門家として、日本で同地域の理解を促進し、友好な外交関係構築に寄与することです。現在は大学で国際政治を学んでおり、今年4月からはニューデリーにある日系企業に勤務する予定です。このことを人に伝えたと「なぜインド？」と聞かれます。



思い返せば現在の夢を抱いたのは、2017年の青少年交換プログラムで派遣されたイタリアでの経験がきっかけです。

当時、17歳だった私にとって、イタリア・シチリア島での日々は新鮮な出来事の連続でした。特に家族や友人と、その時々幸せを楽しむシチリアの人たちの精神性から「人生を心から楽しむ生き方」を、自分の仕事について他人を圧倒するほど語る姿からは「情熱を持って仕事に打ち込むこと」を学びました。また、留学中に目に飛び込んできた難民問題が契機となり、その背景を理解するために国際関係についてもっと知りたい、という強い意志が芽生えたのもこの時のことでした。

今の私を支えているのは、留学で培われた世界的レベルのフットワークの軽さと、新しいことに挑戦する姿勢です。

将来、シチリアのホストファミリーや友人に、インドで仕事に打ち込んでいることを報告できるよう、今後のキャリアを進めたいです。

埼玉県出身、秋田県在住。2017-18年度第2570地区青少年交換学生としてイタリアへ派遣。国際教養大学国際教養学部4年。趣味はクラシックバレエと温泉巡り。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者(現役、学友どちらも可)を『友』編集部にご推薦ください。 hensyu@rotary-no-tomo.jp

パズルdeロータリー

奇数月は「おもしろパズル」

例会中は解かないでね!

謎の人生相談!?

出題：小野寺 紳

作画：ライトマン

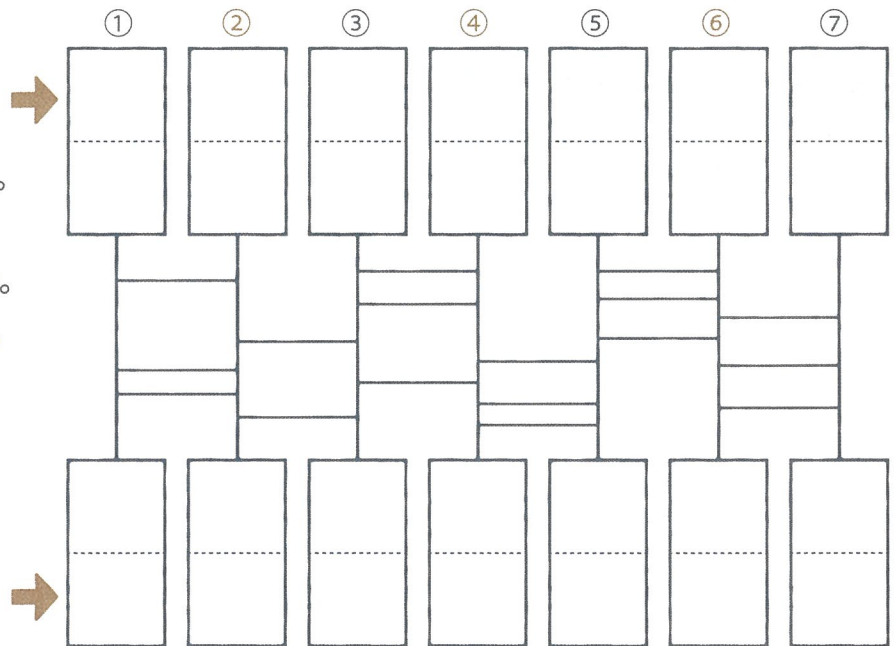
ある相談に答えていただきたいのです。まず、①から⑦の問題にそれぞれ、仮名2文字で答え、次にあみだくじの要領で場所を移動し、同じ2文字を入れてください。文字の入った図を見ると、ある生き物の名前と悩んでいる相談の内容が分かりますので、仮名3文字で答えてあげてください。

- ①自分の両親の男兄弟。
- ②「八百」の読み方のひとつ。
- ③ヒキガエルの俗称。〇〇ガエル。
- ④救急〇〇。三輪〇〇。
- ⑤地球の表面で水がない部分。
- ⑥補うこと。食費の〇〇にする。
- ⑦平たい木材。

ヒント・2つの矢印がカギ。

答え

--	--	--



いつでもどこでもラジオ体操

アタマの次はカラダを動かせ!



毎月5人に
体操ブービーを
プレゼント!!

◆パズルdeロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「1月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階 (一社) ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄(縦組み)に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2025年2月10日(月)必着(当選発表は4月号)

●パズルdeロータリー(10月号)の答えと当選者は、横組みP38に掲載しています。

詰め碁



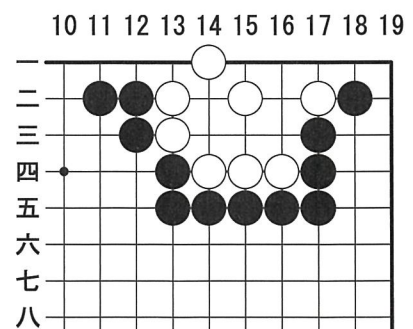
出題

日本棋院

問題

黒先 白からの利き筋に注意し、手にします。(5分で初段)

●詰め碁の解答は、横組みP38に掲載しています。
(※詰め碁にはプレゼントはありません)





*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

可能性ではなく時間の問題： ポリオ根絶に向けた進展が続く



写真提供：ロータリー第 33 / 34 ゾーン

アメリカ・ペンシルベニア州ピッツバーグ大学が 10 月 24 日の世界ポリオデーに主催したライブストリーミングでステファニー・アーチック R I 会長は、「ポリオの問題は『根絶されるのか』ではなく、『いつ根絶されるか』です」と語りました。

「ロータリーの行動計画は、ロータリーがより大きなインパクトをもたらすことを目的としています。私たちのポリオ根絶プログラムは、まさにそれを証明するものです。身体まひを引き起こすこの病気に何百万人もの子どもが、かかることがなくなるでしょう。この病気に付随する医療費のために、何十億ドルもの資金が費やされることもなくなります。私たちは、これほどまでに大きな進歩を遂げてきたのです」と、アーチック会長。

世界ポリオデーは、G P E I（世界ポリオ根絶推進活動）の取り組みへの認識を高め、支援を集めることを目的としています。ロータリーとそのパートナー団体が 1988 年に G P E I を結成して以来、野生型ポリオウイルスの症例数は 99.9% 減少。このイベントでは、根絶に向けたロータリーの継続的な取り組みが強調されました。

ポリオは現在も、アフガニスタンとパキスタンの 2 カ国に常在しています。2024 年には野生型ポリオウイルスの感染数が増加。また、パレスチナ

のガザ地区で 25 年ぶりにワクチン由来ポリオウイルスによるまひ症例が報告されました。これは、ポリオが完全に根絶されるまでは、世界中の子どもがポリオの脅威にさらされるという事実を物語っています。

しかし、インターナショナル・ポリオプラス委員会のマイケル・マクガバン委員長は、課題はあっても世界的な根絶は手の届くところにあると、揺るがぬ自信を示しています。「今は困難な時期ですが、アフガニスタンとパキスタンで引き続き重点的に取り組み、ロータリアンがこれまでに成果を上げてきた活動を継続していくことで、ポリオ根絶を成し遂げられるでしょう」

イベントでは、ポリオ予防接種活動の現場で活動する人々を紹介する動画が上映され、その中で、アーチック会長は、昨年初めにパキスタンのカラチを訪問した際、彼らからインスピレーションを受けたと話します。「男性たちは毎日、交通検問所で何千人もの子どもに予防接種を行うために熱心に活動しています。女性たちは家々を訪問し、家族に直接働きかけしています。中には文字通り、山を登り、遠隔地に住む子どもに予防接種を行う人たちもいます。彼らの決意が揺らぐことはありません」

主催したパトリック・イクス R I 理事は、ジョナス・ソーグ博士がワクチンを開発した地であるピッツバーグはまさにこのイベントにふさわしい場所だと述べました。

カリフォルニア州ラホーヤのジョナス・ソーグ・レガシー財団の理事長であり、ピッツバーグ大学公衆衛生大学院の非常勤教授でもあるピーター・ソーグさんは、父親のジョナス・ソーグ博士が不活化ポリオワクチンを開発するまでの経緯について、語りました。

父親は若い頃から世界を変えたいという思いを抱き、科学に興味を持っていたと、ソーグさん。ソーグ博士は、ミシガン州でインフルエンザワクチンに関する研究に携わった後、1947 年にピッツバーグのウイルス研究所に勤

務し、国立小児麻痺財団からポリオ研究のための助成金を受けました。これが不活化ポリオワクチン開発のきっかけとなりました。

ソーグさんは、困難な問題の解決に情熱を傾けるロータリー会員たちに囲まれ、光栄に思うと述べました。「ロータリアンの皆さんと会うたびに、その人間性の素晴らしさ、そして世界をより良い場所にするためにさまざまな分野で献身的な努力を注いでいることに、ただただ感銘を受けます」

-Etelka Lehoczy, Arnold R. Grahl
-Rotary International

今後の R I 国際大会

2025 年 6 月 21 ～ 25 日

カナダ・カルガリー

（以下、予定）

2026 年 6 月 13 ～ 17 日

台湾・台北

統計

全世界ロータリアン総数

1,171,376 人

クラブ数 36,691 クラブ

地区数 515 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 123,590 人

クラブ数 9,139 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 359,881 人

クラブ数 15,647 クラブ

国と地域 150 以上

2024 年 11 月 20 日現在

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：
G P E I（世界ポリオ根絶推進活動）
<https://polioeradication.org/wild-poliovirus-count/>（2024 年 11 月 25 日現在）

		2024年	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	55	6	20	1
	アフガニスタン	23	6	2	4
非常任国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		78	12	30	6



RI 指定記事

ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

2025 年は定期的な寄付を

新年のスタート、1 月は成果を振り返り、今後の計画を立てる時です。今、寄付推進の重要な年度のただ中。ロータリー財団は、2025 年までに 20 億 2,500 万ドルの恒久基金を達成するという意欲的な目標を掲げています。これは、会員の皆さまの寛大な支援により可能となります。1 月は職業奉仕月間でもあり、ロータリーの活動にとって各会員の持つ専門知識がいかに重要であるかを認識する時でもあります。

10 月のアーチ・クランフ・ソサエティの式典で、入会者が教師、エンジニア、医療従事者、建築家など、多種多様な職業に就いていることに感銘を

受けました。共通していたのは、ロータリー財団を通じてより良い世界をつくることへの深い関与でした。

職業奉仕を通じ、私たちの多くが、職業から得られる知識をロータリーにもたらししています。ロータリー財団専門家グループがその良い例です。専門家グループに属するロータリー会員は、プロジェクトの計画、補助金申請、評価において専門スキルを生かし、皆さまからの寄付が支えるプロジェクトの持続可能性と効果を確かなものとするための支援をしています。

ロータリー財団の活動は会員による定期的な寄付に頼っています。自動定

期寄付は、手続き簡素化のための解決策の一つで、頻度を選んで寄付できます。財団側も、定期的な寄付があれば、効果的な計画を立て、差し迫ったニーズに迅速に対応し、今後も人々の生活をより良くしていくことができます。

毎年 1,000 ドル以上を寄付した人を認証するポール・ハリス・ソサエティも、財団を強化する方法です。ポール・ハリス・ソサエティ会員は、アーチ・クランフ・ソサエティ会員や自動定期寄付を利用する寄付者と同じく、継続的な寄付の精神を体現しています。

今年の寄付目標を立てる際、財団への支援を通じて皆さんの寄付のインパクトが世界に広がることを忘れないでください。全ての寄付が有意義な変化を促します。25 年を迎えた今、ロータリー財団への私たちの積極的な参加を新たにしようではありませんか。

ロータリーで皆さんが力を合わせ、寄付することによって、職業が何だろうと、住む場所がどこだろうと、私たちは「よいこと」のための大きな力になれるのです。皆さまのご支援とご活動に心から感謝いたします。

MARK DANIEL MALONEY

2024-25 年度ロータリー財団管理委員長

RI 指定記事

カルガリー国際大会

カルガリーで忘れられない夜を



Nashville North のテントコンサート

カウボーイハットをお忘れなく：フレンドリーなカナダの仲間たちが、6 月 21 ~ 25 日に開催されるカルガリー国際大会の主要イベントで皆さんを待ってい

ます。

「大都市ながら小さな街の雰囲気があります。大会での全体験は素晴らしいものになるでしょう」と話すのは、カルガリー国際大会ホスト組織委員会の共同委員長であるマーク・スターラットさん。各種チケットの購入は、rotarycalgary2025.org から。

Grandstand Spectacular (6 月 21 日)：先住民のフープダンス、軽快な音楽、馬のリレーレースを楽しめます。

Rockin' the Big Tent (6 月 22 日)：カントリー音楽のファンやカルガリーのウエスタン文化を体験したい人にぴったり。Nashville North テントで行われるこのイベントにぜひご参加ください。

カルガリー・シビック・シンフォニーによる「New Blood」(6 月 22 日)：ピーター・ガブリエルの音楽によるダンスショーで、先住民の寄宿学校で子どもたちが虐待を受けていた問題を通して先住民のブラックフットの伝統に触れます。

ホストホスピタリティーのタベ (6 月 23 日)：国際大会伝統の人気イベント。現地の会員が参加者を自宅でのディナーに招待したり、レストランやその他の場所で親睦を楽しんだりします。

Western Ranch Showcase (6 月 24 日)：馬たちによるロデオを間近で見られる、息をのむようなイベント。主催者からのアドバイスは、「興奮し過ぎてカウボーイハットを落とさないように」

第28回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭 開催のお知らせ

京都洛中RC 森 幸治

「第28回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」は、当クラブがホストを務め、6月14日に京都で開催します。迫力の混声合唱から、女声だけの合唱など、感動のハーモニーをぜひ聴きに来てください。

インバウンド需要の増加と、大阪・関西万博が開催中

ですので、宿泊予約が取りにくくなることが予想されます。来場をご検討の皆さまは早めのご準備がお勧めです。全国の皆さまにお目にかかることを心よりお待ちしております。



■開催概要

開催日程	2025年6月14日(土)
プログラム	合唱祭 10時30分～17時50分 懇親会 18時45分～20時45分
会場	ウェスティン都ホテル京都 〒605-0052 京都府京都市東山区粟田口華頂町 1 ☎ 075-771-7111
お問い合わせ	京都洛中RC事務局 rakuchu.rc@gmail.com ☎ 075-256-3741

パズルdeロータリー 10月号の答え

正解は「**6+5=11**」

応募総数 143人 正解者 138人

当選者(敬称略・順不同)／赤塚章(七飯RC)、福島秀治(葛生RC)、秋田健一(柳井西RC)、岩野彰(長野RC)、高坂泰弘(豊橋北RC)

8	7	1	2	4	5	9	6	3
9	5	2	⑥	3	8	7	4	1
6	3	4	7	1	9	5	8	2
5	2	9	1	7	6	4	3	8
3	6	7	9	8	4	1	2	5
1	4	8	3	⑤	2	6	7	9
2	1	3	4	9	7	8	5	6
4	8	6	5	2	1	3	9	7
7	9	5	8	6	3	2	1	4

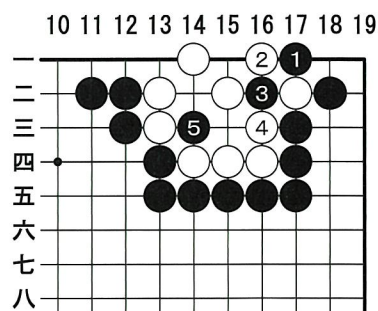
◆ P35 詰め碁の答え ◆

黒先コウ (17の一)

この問題に関するお問い合わせは、下記(公財)日本棋院認定係までお問い合わせください。
TEL : 03-3288-8723
FAX : 03-3261-5841

◆ 解説 ◆

黒1が好手。白は2から4と粘る手があり、黒5に白1の下取りのコウが正解です。白2で3は黒2で白死。初手黒3は白4が利き筋。白から2と5が見合いになり白生きです。初手黒2も白4と受けられ、黒3に白5で白生き。初手黒4は白3で白生き。



モデル急募!



『ロータリーの友』って、皆さんにとってどんな存在ですか?
ロータリーを学ぶもの? 短歌を応募するもの? 仕方なく読むもの?
『友』に寄せる思いを胸に、モデルとして愛読を呼びかけてください。
東京にあるロータリーの友事務所にお越しいただける方を条件に、ご応募をお待ちしています。
掲載は、縦組み表紙の裏。掲載されれば一気にあなたも有名人!

■募集要項

撮影日時	随時相談
内容	- 友事務所内で撮影(服装指定あり) - ポーズの指示があります 1ページにカラー写真で掲載
備考	- 写真、キャッチコピー、デザインは編集部が決定 - 原則、交通費はお支払いしません - 撮影報酬はございません
応募方法	氏名、クラブ名、職業分類、メールアドレスを記載し、ご自身の『ロータリーの友』へのエピソードや感想を添えて編集部まで。お顔写真などがあれば添付ください。モデルの決定は編集部からの連絡をもって代えさせていただきます。 hensyu@rotary-no-tomo.jp



輝く若者をご紹介します! — NEW GENERATION

ロータリーのプログラムに参加している
(参加経験のある)若い人たちを紹介
します。皆さんの周りで輝いている
若者をご推薦ください。
送り先はメールで編集部まで。

hensyu@rotary-no-tomo.jp





地区別クラブ数・会員数一覧表

(2024年10月末現在)

地区	R C 数	会員数	23年10月末 会員数
第2500地区	64	2,241	2,241
第2510地区	68	2,368	2,411
第2520地区	76	2,050	2,065
第2530地区	60	2,183	2,212
第2540地区	40	1,113	1,099
第2550地区	47	1,577	1,622
第2560地区	54	2,038	2,028
第2570地区	47	1,582	1,582
第2770地区	68	2,267	2,325
第2790地区	83	2,706	2,691
第2800地区	49	1,522	1,511
第2820地区	55	1,882	1,890
第2830地区	40	1,126	1,107
第2840地区	45	2,070	2,057
第2580地区	73	3,073	3,016
第2590地区	52	1,852	1,861
第2600地区	52	1,817	1,844
第2610地区	63	2,497	2,520
第2620地区	74	2,865	2,897
第2630地区	74	3,132	3,129
第2750地区	98	4,604	4,608
第2760地区	84	4,607	4,652
第2780地区	67	2,356	2,384
第2640地区	64	1,542	1,580
第2650地区	95	4,238	4,276
第2660地区	78	3,506	3,432
第2670地区	73	2,807	2,871
第2680地区	68	2,495	2,543
第2690地区	65	2,916	2,951
第2700地区	60	3,161	3,159
第2710地区	72	3,169	3,179
第2720地区	73	2,331	2,357
第2730地区	68	2,355	2,392
第2740地区	55	2,089	2,105
34地区合計	2,204	84,137	84,597

日本のロータリー

会員数 83,886 人

クラブ数 2,195

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 第 2750 地区クラブ数・会員数は、P B グループ(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) 9 R C・251 人を含みます。P6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。23 年 10 月末 P B グループは 9 R C・278 人。

地区会員数修正 12 月号横組み P48 (9 月末) 表中、2800・1,516 人、2750・4,587 人、2730・2350 人、34 地区合計会員数 83,877、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数 83,625

ご案内 左記一覧表は、3 つの地域順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 42 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

新ロータリー衛星クラブ

志摩ホープ (2630・三重県)

2024 年 11 月 11 日認可

会員数：9 人

スポンサークラブ：志摩

例会日：第 1・3 水曜日

例会場：志摩 R C 事務所

議長：山川楠人 幹事：川野晃太

熊本城東 Yon-Nasse (2720・熊本県)

2024 年 10 月 31 日認可

会員数：11 人

スポンサークラブ：熊本城東

例会日：第 1・3 水曜日

例会場：B スリランカカレーみなみ

議長：池田孝史 幹事：内田 淳

新インターアクトクラブ

盛岡スコール高校 (2520・岩手県)

提唱：盛岡 R C

結成：2024 年 9 月 5 日

ふたば未来学園 (2530・福島県)

提唱：富岡 R C 浪江 R C

結成：2024 年 10 月 15 日

桜丘中学・高等学校 (2580・東京都)

提唱：東京臨海南 R C

結成：2024 年 8 月 20 日

愛知県立津島高等学校 (2760・愛知県)

提唱：津島 R C

結成：2024 年 11 月 13 日

◆ご案内 ローターアクトクラブ脱会：2024 年 10 月 4 日付で浦和 (2770・埼玉県) / 浦和 R C 提唱、新横浜 (2590・神奈川県) / 新横浜 R C 提唱。

◆訂正 本誌 12 月号横組み P17 浦和ベイ R C → 浦安ベイ R C へ、同横組み P 48、地区別クラブ数・会員数一覧表の第 2750 地区の会員数 4,335 → 4,587 へ、お詫びとともに訂正します。

ロータリーの友

2 月号主要記事予定

横組み 平和構築と紛争予防月間

スタートレック ヒカル・スルーが歩む道 差別、闘い、そして未来への夢

縦組み 言葉を守る テレビディレクターの考える戦争

映像ディレクター・作家 渡辺 考

この人訪ねて 曾文顕さん (久留米中央 R C)

◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

◆友管理部からのお知らせ

購読部数変更について

今年度『友』誌下半期分(2025年1月号～6月号)の減部のご連絡は、2024年12月5日に締め切らせていただきました。

12月6日以降の減部は、2025年**1月10日**までに変更手続きをいただければ、2月号～6月号の減部として、対応いたします。

1月11日以降に手続きいただいた減部は、次年度2025年7月号から承ります。

印刷版の追加購読(バックナンバーも含む)は、在庫がある限りお受けいたします。

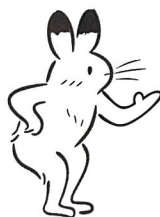
変更手続きがない場合には、2024年12月号と同数/同じ媒体(印刷版/電子版)を継続して、ご準備いたします。
※『友』購読いただいた方は、もれなく「電子版」を閲覧できます。「電子版」のみをお申し込みの場合、「印刷版」は送付いたしません。注文媒体はお選びいただけます。

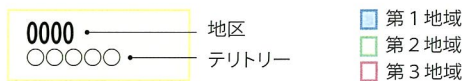
電子版閲覧のためのパスワードについて

『友』電子版を閲覧するための、クラブ別パスワードを半期ごと(7月と1月)に変更していましたが、今下期のパスワードは、試験的に変更せず、**上期と同じパスワードでご覧いただけます。**

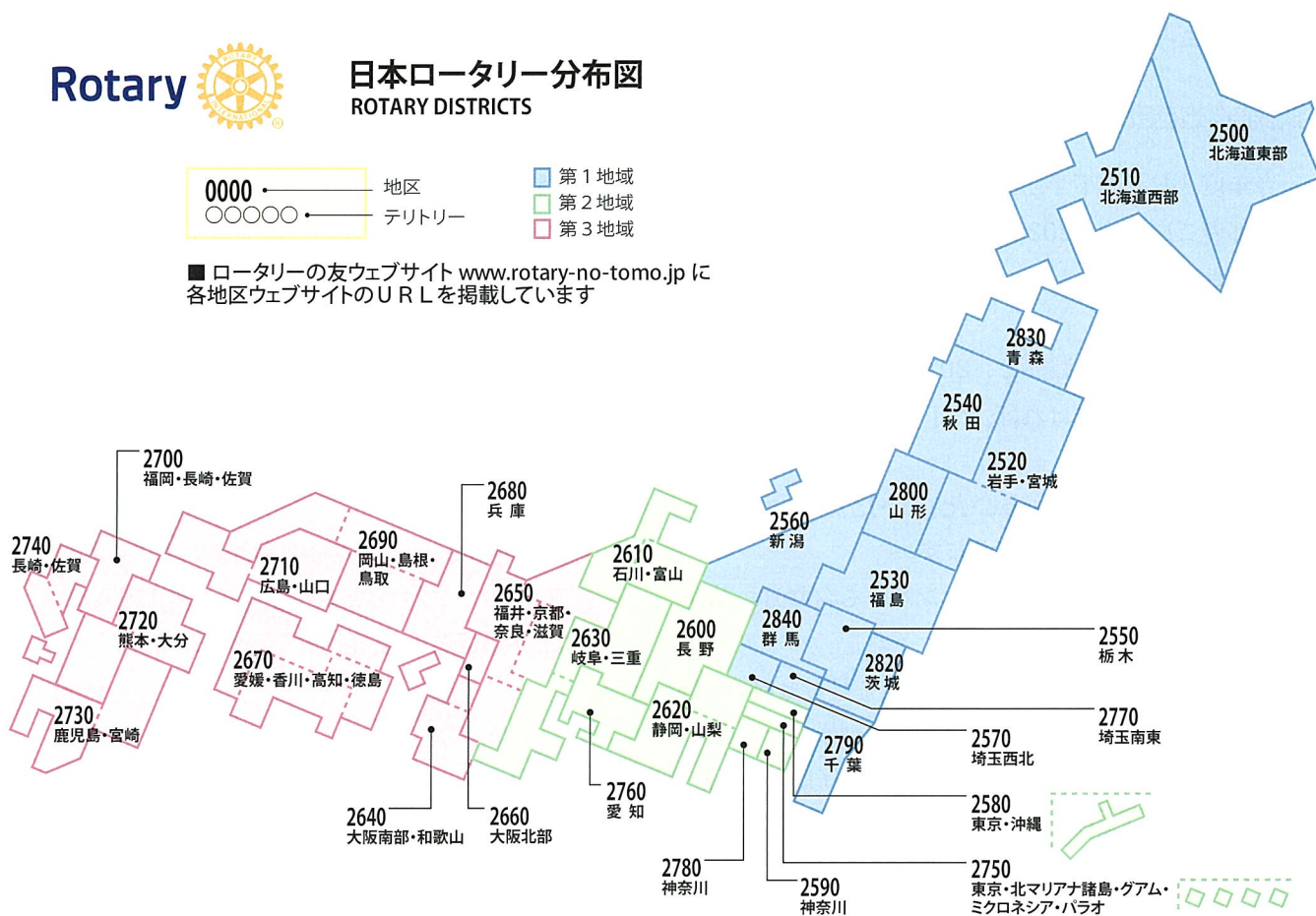
ID、パスワードは、1月3日付けでお送りした**請求書の右下に記載**(2024年7月1日付け発行の請求書に記載したID、パスワードと同じもの)しています。

『友』購読部数変更、その他出版物の注文、『友』送付先の変更は、ウェブサイトの「注文・各種変更」(rotary-notomo.jp/order/main.php)にて承ります。





■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左工門 (甲府)
副委員長 中川 基成 (あすか)
R I 理事 水野 功 (東京飛火野)

特別顧問 橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)

顧問

森川 昭正 (仙台宮城野)
篠原 一行 (多治見川・羽付)
中野 博美 (京都)
中川 雅雄 (東京浅草)
田中 靖 (東京小金井)

相談役 上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)

地区代表委員
2500 近藤 真治 (帯広西)
2510 中村 越子 (札幌北)

2520 千田 弥生 (水沢)
2530 佐藤 文雄 (郡山北)
2540 岩佐 信宏 (横手)
2550 鈴木 良男 (鹿沼)
2560 小林 啓之 (長岡)
2570 田島 高久 (深谷)
2770 板橋 智之 (川口東)
2790 海寶 勤一 (千葉西)
2800 木口 護 (白鷹)
2820 小森 勇一 (高萩)
2830 木下 一志 (五所川原)

2840 柳田 秀男 (太田)
2580 相澤 愛 (東京練馬西)
2590 亀ヶ谷純子 (横浜港北)
2600 中澤 弘和 (佐久コスモス)
2610 青島 郁男 (宇奈月)
2620 齋藤 嗣樹 (鎌崎)
2630 市川 裕規 (名張中央)
2750 市川 和博 (東京八王子南)
2760 池森 由幸 (名古屋千種)
2780 田中 哲 (鎌倉大船)
2640 北芝 昌明 (和歌山南)

2650 福田 一郎 (奈良)
2660 木村 芳樹 (大阪南)
2670 坂田千代子 (徳島プリンス)
2680 近田 和裕 (神戸西)
2690 飛山 美保 (岡山南)
2700 江藤 航治 (小郡)
2710 鈴木 義治 (岩国)
2720 波佐間英樹 (熊本中央)
2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
2740 俣野 正仁 (大村)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第73巻1月号

2024年12月31日印刷
2025年1月1日発行

定価 275 円
(本体価格 250 円 送料別)

振込先

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 水野 功 (東京飛火野)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
佐々木辰郎 (大和田園)
大橋 秀典 (東大阪東)

■理事会

代表理事 高野孫左工門 (甲府)
理事 中川 基成 (あすか)

理事 橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
森川 昭正 (仙台宮城野)
篠原 一行 (多治見川・羽付)
中野 博美 (京都)
中川 雅雄 (東京浅草)
田中 靖 (東京小金井)
横山 武志 (東京北)
羽田 伊助 (東京目黒)
本田 博己 (前橋)

理事 山内 一浩 (浦和)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
榊原 一久 (東京池袋豊島東)
渡辺 剛 (東京みなと)
野崎 恭子

監事 宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

■職員

所長 渡辺 剛 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
熊谷健太郎
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
新見 圭太
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)
表紙題字 加藤光峰
表紙編集 スタジオ ジングル・ジム

●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容のお問い合わせ)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
www.rotary-no-tomo.jp



エス・プランナー特別企画

2025年6月 カルガリー ロータリー国際大会参加ツアー

※プレミアムエコノミークラス、ビジネスクラスの設定もございます

※15名様以上の場合、添乗員が同行いたします

※ご旅行をご参加のお客様は弊社で大会登録を代行登録させて頂きます

A カルガリー5日間 コース 6月20日(金)~6月24日(火)				
お一人様 498,000 円 + 燃油サーチャージ + 諸税 ※ウェストジェット航空利用※				
エコノミークラス・2名1室利用・食事付(朝食3回,夕食2回)				
月日	都市名	時刻	交通	日程・内容
6/20 (金)	成田 カルガリー	18:30 12:45	WS081 専用車	空路、カルガリーへ 到着後、市内観光の後ホテルへ ホテル又はレストランにて夕食 【カルガリー泊】
6/21 (土)	カルガリー			終日：自由行動 ※OP(別料金) 終日カナディアンロッキー観光 ホテル又はレストランにて夕食 【カルガリー泊】
6/22 (日)	カルガリー			終日：国際大会参加 【カルガリー泊】
6/23 (月)	カルガリー	15:10	専用車 WS080	空港へ送迎 空路、帰国の途へ 【機中泊】
6/24 (火)	成田	16:25		到着後、通関の後解散

B バンクーバー・カルガリー・ カナディアンロッキー7日間 コース 6月18日(水)~6月24日(火)				
お一人様 898,000 円 + 燃油サーチャージ + 諸税 ※ウェストジェット航空利用※				
エコノミークラス・2名1室利用・食事付(朝食5回,昼食3回,夕食4回)				
月日	都市名	時刻	交通	日程・内容
6/18 (水)	成田 カルガリー バンクーバー	18:30 12:45 14:00 14:35	WS081 WS117 専用車	空路、バンクーバーへ 到着後、市内観光の後ホテルへ ホテル又はレストランにて夕食 【バンクーバー泊】
6/19 (木)	バンクーバー カルガリー バンフ	午前 午前	専用車 航空機 専用車	空港へ送迎 空路、カルガリーへ カナディアンロッキー(バンフ)へ 昼食は途中レストランにて ホテル又はレストランにて夕食 【バンフ泊】
6/20 (金)	カナディアン ロッキー		専用車	終日：カナディアンロッキー観光(昼食付) ホテル又はレストランにて夕食 【バンフ泊】
6/21 (土)	バンフ カルガリー	午前 昼	専用車	カルガリーへ 到着後、レストランにて昼食 ホテル又はレストランにて夕食 【カルガリー泊】
6/22 (日)	カルガリー			終日：国際大会参加 【カルガリー泊】
6/23 (月)	カルガリー	15:10	専用車 WS080	空港へ送迎 空路、帰国の途へ 【機中泊】
6/24 (火)	成田	16:25		到着後、通関の後解散

C ロサンゼルス野球観戦と カナダの絶景・カルガリー7日間 コース 6月18日(水)~6月24日(火)				
お一人様 798,000 円 + 燃油サーチャージ + 諸税 ※全日空利用(国際線)※				
エコノミークラス・2名1室利用・食事付(朝食5回,昼食2回,夕食2回)				
月日	都市名	時刻	交通	日程・内容
6/18 (水)	羽田 ロサンゼルス	21:05 15:15	NH126 専用車	空路、ロサンゼルスへ 到着後ホテルへ チェックイン後 スタジアムにて野球観戦 【ロサンゼルス泊】
6/19 (木)	ロサンゼルス	夕刻	専用車	終日：ロサンゼルス市内観光と野球観戦 スタジアムにて野球観戦 【ロサンゼルス泊】
6/20 (金)	ロサンゼルス カルガリー	12:35 16:39	WS1511	空路、カルガリーへ 到着後ホテルへ ホテル又はレストランにて夕食 【カルガリー泊】
6/21 (土)	カルガリー	朝	専用車	終日：カナディアンロッキー観光 (バンフ・レイクルイーズ等) ホテル又はレストランにて夕食 【カルガリー泊】
6/22 (日)	カルガリー			終日：国際大会参加 【カルガリー泊】
6/23 (月)	カルガリー バンクーバー	16:45	専用車 航空機 NH115	空港へ送迎 空路、バンクーバーを経由し帰国の途へ 【機中泊】
6/24 (火)	羽田	19:00		到着後、通関の後解散

<SPのお約束10箇条>

- ① 「安心・安全」を第一に皆様のご旅行を有意義に楽しく過ごしいただくようツアーの催行にあたります。
- ② 現地では弊社社員又は現地係員による「至れり尽くせりの」サービスを提供させていただきます。
- ③ 添乗員が同行コースは弊社社員が対応させていただきます。(催行人員以上)
- ④ 「国際大会」に熟知したスタッフが皆様の窓口となり、お申込みから帰国まで対応させていただきます。
- ⑤ 全ての都市において、3.5星クラス以上のホテルを使用致します。
- ⑥ 一部の行程(大会当日)を除き、ほとんどの日程は食事が含まれておりますので、お食事のご心配は無用です。
- ⑦ 「国際大会」の登録は弊社にて代行手数料なしで対応させていただきます。(大会登録料は別途)従って、個々にお申し込みいただく必要はありません。また開会式当日のスケジュール等弊社にて確認、ご案内させていただきます。
- ⑧ 航空座席についてはエコノミークラス料金を基本としますが、「ビジネスクラス料金」もご案内致します。一部コースは「プレミアムエコノミークラス」も設定あり。
- ⑨ 所属クラブ、グループごとのご要望にご満足いただける別途ツアーのご提案、対応をさせていただきます。
- ⑩ 開会式当日はスケジュールに合わせて専用車による送迎サービス及びスタッフが同行し、円滑にツアーを催行させていただきます。また、開会式のチェックインのお手伝いもさせていただきます。

【お申込み・お問い合わせ】



株式会社エス・プランナー
TEL : 03-5830-6427

(観光庁長官登録旅行業第2018号)

FAX : 03-5830-6495

e-mail : rotary@splanner.com

担当：和田・川嶋 (営業時間：平日 10:00~18:00)

〒111-0035 台東区西浅草2-20-6 浅草SPビル4階

📄 ご投稿お待ちしております！

ご投稿は『友』ウェブサイトにある
フォームから受け付けます

コーナー名	説明	文章	写真	備考
ロータリー・アット・ワーク	ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください	150～600字程度	集合写真、カメラ目線の撮影は不可。活動の様子が分かる画質の良い写真を添付	活動日を記載のこと
友愛の広場	エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など	1,000字以内	集合写真、カメラ目線の撮影以外が望ましく、あれば添付。なくても可	
私の一冊	会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）をお願いします	320字以内		原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を明記
うちの子	自慢のペットを写真で紹介	100字以内	ペットそのもののアップの写真	ペットの名前を明記
パズルdeロータリー	数独、パズルを毎号順番に掲載。プレゼント応募の締切は、発行月翌月の10日くらい			
内外よろず案内	会員間の趣味の交換、催し物の案内など	200字以内		資料があれば添付
声	『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日締切	150字以内		対象記事を明記
ロータリー俳壇・歌壇・柳壇	1人1カ月に1枚3句（首）まで。作品の横にクラブ名、お名前、電話番号を記入			はがき可

- * 投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます
- * 写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物および国際ロータリーのウェブサイト、出版物に掲載する場合があります
- * 掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください

情報募集中！

●NEW GENERATION

ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ロータリーアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

●ELEVATE ROTARACT

ロータリーアクトクラブの取り組みを紹介。地域で活躍するロータリーアクトクラブをお知らせください。

●『クラブ週報』『クラブ会報』

「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。印刷版のみで発行のクラブは、ご郵送ください。

送り先・お問い合わせ

投稿フォーム

www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php

ロータリーの友 編集部

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 ☎ 03-3436-6651



ラーニングセンターで リーダーシップの スキルを磨こう

オンラインコースで、活動や仕事に役立つスキルを
磨き、リーダー職への就任に備えましょう。
いつでもどこでも 自分に合ったペースで学べる
コースが豊富に用意されています。

参加型の学びを体験

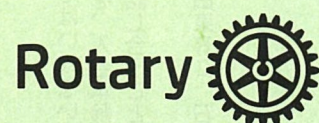
- インタラクティブな学び
- 学んだことを「知識チェック」で確認
- 進み具合を確認、バッジ・ポイント・
修了証を取得

各自の学習ニーズに合った方法で

- 学習プラン：役割やトピックごとに
関連コースをまとめた便利なプラン
- 学習トピック：特定の主題についてユ
ーザーが投稿したリンク、資料、コー
スのコレクション



会員ならどなたでもラーニングセ
ンターのコースをご利用いただけ
ます。早速rotary.org/learnを
ご利用ください。



『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】
特集・歴史を紡ぎ、未来へ 名士の足跡と、ロータリークラブ。(横 P 7~15)

【感想】 近い時代に活躍された米山・渋沢・福澤の3人が織りなす縁の考察、後世に遺した足跡をたどることで醸成される矜持(プライド)と帰属意識(ピロング)の高まりは、得難いものだと思ふ。まさにロータリーの目指すところが凝集された意義ある特集でした。

伊予三島RC 川崎 直人

【対象記事】
特集・歴史を紡ぎ、未来へ 名士の足跡と、ロータリークラブ。◇「渋沢栄一と郷『土』愛」・埼玉県深谷市(横 P 10~11)

【感想】 かなり中身の濃い内容でした。地域発展のための奉仕活動の参考にもなると思いますので、今度の休日、深谷市に観光に行ってみたいと思います。

東京臨海西RC 飯塚 憲貴

【対象記事】
特集・よねやまにもっと親しもう! ◇米山学友会を知ろう(横 P 18~19)

【感想】 台湾米山学友会が創立40周年を迎えたとのこと。日本での恩返しに、台湾で学ぶ日本人の奨学制度を作り、奨学生の数が累計61人に達したのは、大変に素晴らしい。

札幌清田RC 高橋 宣充

【対象記事】
2025年国際大会◇GONG TO MOHKNSTIS カルガリーへの誘い モーキンズツイスへ!(横 P 22~31)

【感想】 小学生の頃、大人になつたらカナダに移住したいと夢見ていました。カルガリー国際大会に参加してみようかな。

福知山RC 藤原 健

【対象記事】
ロータリーの友と私◇学びとひらめき。(縦表紙裏)

【感想】 山下尚治さん、格好良かったです。 京都RC 佐藤 建

【対象記事】
スピーチ◇鑑南RC・堀田了誓氏の「風災の地で生きる 希望ある未来にengagement」(縦 P 4~8)

【感想】 台風被害に遭つた房総半島で、実際何が起こり、何に困つたかがよく分かつた。支援する側の思いと被災者の思いが、必ずしも合致していなかつたという言葉は非常に重い。独りよがりの押し付けボラントピアにならないように、心したいと思つた。横浜西RC 吉川知恵子

【対象記事】
「つぼんふうど」駅弁と旅する関東編(縦 P 13)

【感想】 鉄道ファンの話が楽しかつた。読んだ後、おにぎり弁当を作つてしまった。平戸RC 溜池千代美

【対象記事】
卓話の泉◇大垣西RC・早野泰弘氏の「口臭とは」(縦 P 19)

【感想】 アンケートで在日外国人の7割が、日本人の口臭にがっかりしたとのこと。ビックリしました。

湯沢RC 豊岡 正好

【対象記事】
ロータリーあるある相談室(縦 P 20)

【感想】 入会3年目にして、よくこんな相談ができたなと(笑)。素晴らしい度胸だと思ひました(爆笑)。

熊本江南RC 永村 聖志

【対象記事】
ロータリーあるある相談室(縦 P 20)

【感想】 変えてはいけなかつたこと、変えるべきことを、入会年齢に關係なく、全会員で話し合うことが大切だと思ひます。

豊田東RC 石橋 博文

●本文150字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトにて!

皆さんの「あるある」な相談に、経験豊かなパストガバナーが、真剣に、時にはユーモアを交えてお答えします。

ロータリー あるある相談室

キラッと
解決!?

相談

うちは会員が100人超の大クラブです。毎年、某青年団体の卒業生が必ず何人か入会してくるルートがあるらしく、若手の会員増強には何らの心配もありません。しかし問題は、彼らの傍若無人ぶりです。彼らは、なんとなくラフで激しそうで、おまけにやかましくて群れていることが多い。夜間例会で酒が入れば、大声を出し、ワガモノ顔で某団体のOB会かのように振る舞っています。さらには、その団体の先輩たちの教えに従ってか、寄付にはまったくの無関心。ロータリー活動の本質を知ろうともしません。今後、会員増強に少し滞りができたとしても彼らが入ってくるのは遠慮願いたい、という少しぜいたくな悩みです。

(滋賀県 本日は某団体に入らなかった 78歳)



イラスト：ライトマン



高崎RC
(大学教授)

回答①

若い人が恐い、できれば安全な距離を取って、お近づきになりたくない、なんとなく同感です。でも相手を憎んだり、排除したりしようとしても状況は変わりません。彼らは社会的には未熟です。ゆっくり時間をかけて、その成長を見守っていくのも先輩ロータリアンにほしい寛容さと包容力です。もしかしたら、彼らは未成熟ゆえ、「人から注目されたい」「自分の存在を知ってほしい」という欲求を発散しているだけなのかもしれま

せん。
以前、私は28歳の青年をロータリーに勧誘したことがありますが。その時のクラブ会長は地元の某団体の理事長経験者でした。彼は、その青年をまずその団体に入れてからロータリーに誘ったかどうか、と私に進言してきました。その時、後ろから声がかかりました。「いや、自分を過大評価する面倒くさいヤツになるからダメだ」。その声の主は、クラブ会長の先輩に当たる某団体の理事長経験者でした。クラブ会長は、笑いながらうなずきました。晴れてその青年は入会を果たし、いまやクラブになじみ、みんなから愛される存在へと成長してくれています。

佐々木千佳子



十和田RC
(石油、ガス販売)

回答②

あちこちでよく聞きますね。ということはその団体の体質なのかも？ 若者の特権だと思いい違いをしているかもしれないですね。それでも、社会の常識を知ってもらわなければ。ロータリーに入会してから社会勉強の場となるような態度と言葉が、ロータリーの先輩には必要だと思います。ご自分の若かりし頃を思い出してください。その若者と大して変わらないのでは？ いろいろな経験を経て、今のご自分があるのでは？ ロータリーがきっかけとなり、会員交流をするたびに成長したのでは？ とにかく例会に出席してもらい、年齢に関係なく交流すること、彼らも変わっていくのではないのでしょうか。役職をお願いすれば快く引き受けてくれるのも、その団体で鍛えられたおかげです。少し長い目で見えてあげてください。寛容の心と「四つのテスト」が試されることでしょう。

亡き犬の駆け寄る夢の醒め夜長

神奈川・茅ヶ崎 大箭剛久

カミナリがゴロ／＼天井這ってゆく

東京板橋 和久井文治

秋鯖や母の味噌煮をいまさらに

東京蒲田 馬場久恵

切り分けて仏に供ふ新豆腐

千葉・富津中央 三枝かずを

川霧をこめて播鉢底の町

兵庫・甲子園 田中由子

迎火は一人送火は大勢で

奈良 寺田眞佐子

秋高しご飯おかわり自由の日

香川・高松 大平昇

朝茗荷摘みて夕の冷奴

神奈川・横浜戸塚 中村裕一

薦もみじ一氣に櫂のぼりけり

埼玉・日高 引間豊

老いたれば散歩が仕事虫集く

埼玉・川口中央 谷野日出人

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇1カ月に1人3句まで ◇締切 20日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、連絡先(電話番号かメール)明記 ◇フォーム応募可 ◇『友』俳壇係

老いてこそおしゃれは楽し会ふ人を
元気づけるとわれ知らざりし

東京荒川 井上久子

風呂温度一度上げたりゆったりと
湯船に浸る彼岸入りかな

茨城・日立 鈴木一良

古希過ぎて初めて食べる鶏刺しと
酒を楽しむ異文化の薩摩

茨城・日立 清水朋彦

几帳面寡黙ながらも温かく
煙草の香せり大いなる亡父

愛知・豊川 鈴木操子

楽しくてしかたがないよと言いたげに
ホームラン打つ大谷の笑み

和歌山・田辺 山路守

コピペなどなかった頃の卒論は
何度も破り仕上げて感動

香川・高松 大平昇

真っ青な九月の空の太陽の
白さに日傘じつと肩を張る

滋賀・びわ湖八幡 北村公史郎

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇1カ月に1人3句まで ◇締切 20日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、連絡先(電話番号かメール)明記 ◇フォーム応募可 ◇『友』歌壇係

夕暮れに長い自分の影を踏み

和歌山・田辺 梅樽

ふっと寂しさと懐かしさを感じます。影踏みしていた
子どもの頃に戻りたい。

残暑から十日過ぎたら早や立冬

神奈川東 河野明光

もう日本は夏と冬。まさかこんな時代が来るとは？
秋物の服どうしよう？

弾む声家族に子犬加わって

福岡伊フニング 甲斐総治郎

私もワンちゃん飼いたいなあ。子どもも大きくなって
誰も遊んでくれません。カミさんは友達とライブです。

セルフレジ時間がかかり汗をかく

東京池袋豊島東 小泉博明

私の行くスーパーもセルフレジ。バーコードをなかなか
読み取ってくれなくてひと苦労。

おでん鍋妻と囲んでドラフト会議

北海道・室蘭東 今野隆男

私ははんぺん、俺、大根。湯気の中に笑う顔が浮かびま
す。いつまでも仲良く、夫婦グググツしてください。

後ろ髪惹かれる髪が欲しい俺

神奈川東 青柳紀

髪の毛って、なんで抜けるんですかね？ 私も頭のてつ
ぺんが寂しくなりました。でも鼻毛だけはモサモサ生え
ます。

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇1カ月に1人3句まで ◇締切 20日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、連絡先(電話番号かメール)明記 ◇フォーム応募可 ◇『友』柳壇係

俳壇

長谷川 權選

大木に一礼残暑ながかりき

大分・宇佐 磯永喜八郎

樟クスノキが樺テヤキが、長い夏、長い残暑を生き抜いた大樹を労ねざらう。樹木に対する敬意を忘れていない人なのだろう。同じ八ガキの「知らぬ間に他界せしとはとる汁」も秀作。今年もよい年に。

虹かかる残暑の滝の水しぶき

東京調布むらさき 玉村秀樹

これも残暑の句。よつやく先の見えてきた暑さの日々、滔々（とうたう）と落ちる滝のしぶきに虹を見つけた。滝も安堵しているかのよう。その安らかな気配が二句のまわりに漂う。

ごゆるりと留まつて欲し好きな秋

愛知・豊川 鈴木操子

まず一句の口調がおもしろい。遠来の客を待つ宿の気さくな女将さんのような。夏が長くなった結果、秋はたちまち過ぎてしまふ。そんなにさつさとお発ちにならずとも。

爽やかに木の香散らして彫る欄間

富山南 升田義次

すがすがしい木屑の香りがこの句から立ち昇る。いま彫刻刀を握って一心に欄間を彫っている職人さん。この句も欄間同様立派な句。よつやく爽やかな秋が訪れた。

天高く遊びし空の観覧車

愛知・名古屋錦 吉田滋代

降りてきたばかりの観覧車を見上げているところだろうか。「天高く」の原句は「登高に」とあったが、観覧車に乗ったのを登高といったのなら理屈の句。適切な一語を選ぶこと大事。

歌壇

馬場あき子選

蓮根の収穫終へし水田に
旅の半ばの鳥舞ひ降りる

熊本・八代北 清水明美

蓮根の収穫を見たことがあるが、とても大変なものだった。秋冷の水沼に腰まで浸（つ）かつての作業、今はもっと機械化されていると思うが、泥土にまみれたみごとな太根が積み上げられ、水田には残葉が散り浮いている。渡りの途中の鳥がそれを見つけて舞降りて来るのもうれしい賑わいだ。

おじいちゃん昔の話はしないでね
自慢話に聞こえると孫

大阪中央 川崎 壽

孫にする昔話、ではなくおじいちゃんの人生の折ふしに体験した昔の話。語り残すことは大切だが、孫の年齢にはまだ早すぎたのであろう。「自慢話」という鋭い批評がおもしろいが、ここで一本取られた作者の表情がみえるようで、これも味わいがある。

唐突な主治医の問いにふとつまる
今後何年生きていたい

埼玉・川口中央 谷野日兆

柳壇

三遊亭白鳥選

明けましておめでとうございます。去年は11月の中ごろまで暑かったですね。まさしく日本熱帯化ですね。そして、大谷翔平選手の大活躍。日本中が元氣になりました。

さあ、今年はどんな年になるのか？ 皆さんの楽しい川柳待ってます。

天

妻愛し昔マドンナ今女帝

佐賀・唐津東 宮島 治

女性も男性も年を取れば皺だらけ。でも人間としての美しさに磨きがかかりますよ。女帝、なんか威厳があつて素晴らしい。お連れ合いに導かれて、幸せな老後を送りましょう。

地

つまずいて、足元見ても何も無い

神奈川・横浜港北 亀ヶ谷純子

この気持ち、私もよく分かります。普通に歩いていて思わずよろける。でも段差もへこみも何も無い。一体私は何につまずいたんでしょうか？ 老いの階段ですかね。

人

地球儀の明日が気になる多事多難

高知西 山岡陸宏

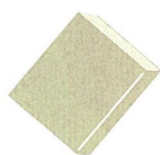
本当に、地球規模で考えると大変なことが起こっています。戦争、異常気象、物価の高騰。心配するのは良いことですが、まずは自分ができることを一つずつやっていきましょう。

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。入手可能な市販書籍をお願いします(絶版・自費出版、応募者と直接関係する書籍は除く)。320字以内。原稿とは別に書籍名、作者名、出版社、発行年をお知らせください。『友』ウェブサイトの投稿フォームからお送りください。

即動必遂 (そくどうひつすい)

東日本大震災 陸上幕僚長の全記録

留辺 薬 R C 伊藤 崇



著者の火箱芳文氏は2011年の東日本大震災の時、陸上自衛隊陸上幕僚長の職にあった。自衛隊の災害派遣は本来、現地知事からの派遣要請を待つて行われるものであるが、氏は大災害の発生を知ると同時に東北方面総監に緊急出動を、さらに全国の総監部に對し出動・待機などの指示を出した。救助には迅速・実効性のある行動が勝るとしたこの即断は、自衛隊法の緊急特例を超えた独断専行であったのだが、結果的にはたくさんの貴重な情報を届け、多くの人命を救ったのであった。

24年の能登半島地震の初期対応についてもいざれ検証されようが、本書から教えられることは多い。ただし、防衛出動の局面においては、文民統制の観点から疑義なしとは言えないのではないか。(第2500地区 北海道)

資本主義の次に来る世界

岡山西南 R C 松原 龍之



ジェイソン・ヒッケル 著
野中香方子 訳／東洋経済新報社
2023年5月刊

ロータリーに入会してから大切にしていることがある。自社の利益は当然、大事だが、地域社会がより良い姿であることが商いの根底にある、という意識だ。災害の多発、国際政治や景気不安、環境問題……明るいニュースを耳にすることが減っている。人口減少と地球環境が既に緊急事態であることは、誰の目にも明らか。本書は経済人類学者の著者が、資本主義の成長志向のシステムを解き明かし、成長に依存しないシステムを提言する。

資本主義を捨てろとは思わない。次なる資本主義への道を、ロータリアン自身が各社で、またクラブとして真剣に向き合う時が来ていると私は思う。「本書が語るのは破壊ではない。語りたいのは希望だ」。希望を抱くための共通言語として、ロータリアンこそ同書を手にしてほしい。(第2690地区 岡山県)

日ソ戦争

帝国日本最後の戦い

神戸南 R C 近藤 弘人



麻田雅文 著
中央公論新社(中公新書)
2024年4月刊

第二次世界大戦末期、和平仲介役という日本の淡い望みもむなし、ソ連は日本に宣戦布告した。満洲、朝鮮半島、南樺太、千島列島での約1カ月の戦闘について、著者は丹念な研究でその史実を明らかにする。

大戦中からソ連が対日戦に加わる構想や、釧路と留萌を結ぶ北海道北半分へのソ連軍上陸の断念は、北方領土の占領と表裏一体であったことなど、領土や権益の獲得という野心を読者は知ることになる。ソ連の社会構造が満洲での更なる悲劇を生み、シベリア抑留はスターリンが日本からの復讐(ふくろう)を人一倍恐れていたことに起因するという。現在のウクライナ情勢の背景を知る手だてになるのでは。

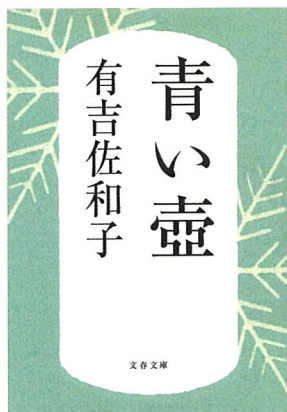
ちなみに、日本人の抑留者が伝えた「ノルマ」という言葉は、ロシア語が語源だと本書で初めて知った。(第2680地区 兵庫県)

「私の一冊」にいつも多くのご投稿を頂き、ありがとうございます！
今回、新年号特別版でお送りします。
ロータリアンご推薦本を参考にしつつ、お正月は「私の一冊」をひもといてはいかがでしょうか？

私の一冊

青い壺

尼崎西RC 福田 晋也



有吉佐和子 著
文藝春秋（文春文庫）
2011年7月刊

無名の陶芸家がデパートから注文を受けて壺を焼いていた。その中の一つが中国の古陶器のような見事な壺に仕上がった。偶然が重なったものだろう。小説はここから始まる。この「青い壺」が売られたり盗まれたりしていろいろな人の手に渡り、物語は進行する。全13話の短編で壺を手にする人それぞれの人生が描かれるが、全編が「青い壺」を中心に、精緻に構成されている。個々の短編の完成度が高く、単独でも据わりが良い。壺は最終話で、陶芸家の元に返ってくる。その時、「日本一の古美術鑑定家」を自認する男が陶芸家に放った言葉とは？本書を読んだ時、志賀直哉『清兵衛と瓢箪』が浮かんだ。有吉さんが読んでいないはずがない。執筆時に、有吉さんの頭にも浮かんだのだろうか？（第2680地区 兵庫県）

税金の世界史

長岡RC 高野 裕

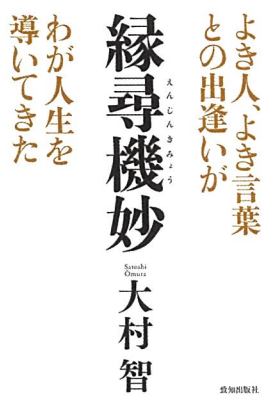


ドミニク・フリスビー 著
中島由華 訳／河出書房新社
2021年9月刊

「税は文明社会の対価である」。アメリカ内国歳入庁の入り口に刻まれている言葉だそう。偉大な文明の誕生は低い税負担と小さな政府を、その凋落は高い税率と大きな政府を伴う。本書は古代から文明には付き物だった税について、その歴史と未来の予測を語る。著者は説く。現在の税法は国境がはっきりした時代に定められた、非デジタル時代の税法である。国境のないデジタル世界に公平に課税する方法を見つけないければ、人々の猛反発を招く。経済は変化している。税制も変化しなければならぬ――。「国民の税負担が小さい国、税制が公平でわかりやすい国は生き残る。（中略）これまでの歴史ではずっとそうだった。これからもずっとそうだろう」歴史を通して税金を考える際にお薦めの一冊である。（第2560地区 新潟県）

縁尋機妙

丸亀RC 横田 龍男



大村 智 著
致知出版社
2023年6月刊

ご存じノーベル賞受賞者の大村智氏のエッセー、インタビューなどをまとめた一冊。「老子の戒めと今日」では、オレオレ詐欺など、かつてなかった類いの犯罪が携帯電話などの文明の利器の登場で起こっていることに對し、老子の言葉を引用します。『民に利器多くして国家ますます昏し』（老子、第五十七章）。文明が進んで便利な道具が増えるほどに社会はますます乱れるということだ。つまり、進化したところから滅びていくということです。AIによって私たちの生活は大きく変わっていきます。イーロン・マスク氏は昨年4月、「最も賢い人間よりも賢いAIの登場は、恐らく来年か2年以内」との予測を明らかにしました。使い方を一つ間違うと大変なことになります。さりとて、この進化を誰も止めることはできません。（第2670地区 香川県）

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

マジックのテクニク

マジシャン隼人

マジックで必ず使うテクニクが「ミスディレクション（誤認誘導）」。人の視線や思考を異なる方向に向けることで、スポーツや格闘技などでも使われます。犯罪に悪用されることもあり、人は簡単にだまされるものであると認識することは重要です。

ミスディレクションは三種類に大別できます。一つ目がフィジカル（身体的）・ミスディレクション。これは、視覚、聴覚、触覚など相手の感覚器官に働きかけ、目をそらすことです。人の視線は動く物に集中するので、マジシャンは観客の注意を引きたい部分を自らが見て、見てほしくない部分を一切見ません。例えば、コインを右手から左手に渡したふりをして、実際には右

手に残っているとします。この時、マジシャンは左手を動かして観客に示し、右手は目立たないようにそっと下ろします。双方の動きと視線を併用します。

二つ目はサイコロジカル（心理的）・ミスディレクション。これは常識や先入観、思い込みなどを利用した心理的な手法です。例えば、手に持ったコインをカップに投げ下ろす時に「チャリン」と音が聞こえたとします。投げたマジシャンの手が空だと、たいていの観客はコインがカップに入ったと信じます。手から投げ下ろせばコインは落ちる。カップにコインが入れば音がする。こうした先入観が、カップにコインは入っていないのに入ったと、間違った内容を真実だと錯覚させます。

三つ目、タイム（時間）・ミスディレクションは、時間のずれを利用して人の記憶をコントロールする方法です。人の記憶は非常にいいかげん。例えば、マジシャンがランプを切ってからカードを選ばせたのか、選ばせてから切ったのか、よほど意識しない限り記憶していません。こうした人の記憶のあいまいさを巧みに利用します。

マジシャンはこれらのテクニクを用いて不思議な現象を起こし、エンターテインメントとして人を楽しませます。

（第2640地区・大阪府・泉大津RCにて）

私の一冊

新装版

抱きしめよう、わが子のぜんぶ

思春期に向けて、いちばん大切なこと

北見西RC 松浦 信一

「子どもを愛することが出来る人ならば、いつからでも、どこでも子どもを育てることはできると信じてたい」。会社や学校、家庭などでの殺伐とした話題が絶えない昨今ですが、思春期の問題行動の根源はどこにあるのでしょうか。児童精神科医の佐々木先生が解決してきた数々の問題を紹介する本書は、先生の温かい思いが込められた復活の名著です。

私は長年、歯科の臨床現場で子どもたちを診てきましたが、10年を過ぎた頃から心に不安を抱えている子どもたちの存在に気付きました。これらの問題は多くの人が関心を持って支えていくべきだと感じます。人知れず診療室で悩んでいた私にとって、本書は心の支えになりました。親として、経営者として、またロータリアンとしても目を通しておきたい一冊です。

（第2500地区 北海道）



佐々木正美 著
大和出版
2023年12月刊

にっぽんふうど



能登牛

肉質はきめ細やかで、上品な脂が特長のブランド牛。出荷頭数が少なく「幻の能登牛」ともいられています。その独特の柔らかく優しい味わいは脂肪の中に含まれる「オレイン酸」の含有率が多いからだそう。「オレイン酸」ってコレステロール値を下げる効果があるそうですよ。



ズワイガニ

能登ではズワイガニの雄を「加能ガニ」、雌を「香箱ガニ」と呼びます。前者はふくらしたカニ身が、後者は小ぶりて味が濃く、内子も楽しめます。「香箱ガニ」の名の由来は、手の甲やお茶道具に似ていることなど諸説あるのですが、「加能ガニ」は2006年に公募で決まりました。

コンカサバ

米ぬかと塩などで漬けた能登地方伝統の保存食。「コンカ」とは、「米ぬか」のこと。そのままおかずや酒のさかなとして食べる他、お茶漬けにもするようです。ただし、塩分が多いので控えたい方はぬかを洗わずに軽く落とし、酒やみりんなどに浸して、塩抜きをしてからお召し上がりください。

サザエ

能登のサザエでございます。輪島市海士町、輪島崎町では今も海女漁が行われ、新鮮なアワビやサザエを一つ一つ彼女たちが潜り採っています。流れの早い潮で育ったサザエは角が長く、殻もきれい。お刺し身もおいしいのですが、僕はつば焼きがオススメです。

フグ

輪島は「とらふぐ」をはじめ、「真ふぐ」「こまふぐ」など天然ふぐの宝庫。特に秋と春のお彼岸の間に旬なので、今が一番おいしい時期。猛毒の卵巣を使った「フグの卵巣のぬか漬」は珍味の中の珍味。なぜ毒が抜けるのかいまだに解明されていないらしい。輪島、恐るべし。



読者プレゼント!!

◆「にっぽんふうど」読者プレゼント応募方法◆

郵送での応募は郵便はがきに①名前 ②所属クラブ ③今月号の「にっぽんふうど」の感想をお書き添えの上、〒150-0011 東京都港区芝公園2-6-15 芝公園黒龍ビル4階(一社)ロータリーの友事務所ににっぽんふうどP係までお送りください。③に関する回答は、「声」欄で紹介させていただくことがあります。ウェブ応募は下記URL、または二次元コードから。

◆締め切り◆ 2025年2月10日(月)
(当選発表は4月号)

<https://forms.gle/HWbcV75LzjMp2q67>



Special Thanks

取材にご協力頂いたロータリアン:
第2610地区ガバナー大橋聡司さん
(宇奈月RC)、同地区パストガバナー黒川伸一さん(富山南RC)、中川満さん(能都RC)、武田憲子さん(能都RC)

おいしく応援!!

第2610地区R6年能登半島地震
応援消費・販路回復支援
特設ページはこちら!!

<https://rotary2610.gr.jp/category/market-recovery-support/>



金沢浅田屋
金沢氷室 吟味焼物詰合せ
を抽選で5人にプレゼント!!





に感じました。ただ、田井さんのように世代間継承について真剣に考える若者がここにはいます。

被災者の心を支える 重蔵神社のはつらつ姉妹

今回の取材で一番お世話になったのが、重蔵神社さんでした。その経緯を話すと長くなるけれど、このお宮の能門^の重蔵^{あゆこ}・伊都子^{いづこ}姉妹には、取材の段取りやコーディネートなど、本当によくしていただきました。

お二人ともチャタリングでアグレッシブ、そして、明るくて人懐こく、何より輪島を愛し、輪島の人を誇りに思う気持ちにあふれているのです。そんなお二人から「取材を受けて」と言われたら、断れないですよ。彼女たちにお世話していただいた僕は、本当にラッキーでした。

さて、その重蔵神社さんは震災直後から現在まで、被災者支援の中心的役割を果たしています。初詣の参拝者が大勢いる中での地震。お宮も鳥居も倒壊し、自身も被災者でありながら、直後から初穂として納められた約2トンのお米を炊いて、おむすびにして配ったとか。わずかな人員で大変な苦労だったそうですが、それはまだ続いているのです。

重蔵神社では、現在も毎週土曜に支援物資の配布を行っています。取材したこの日は水やトイレトペーパーの他、生鮮食品も配っていました。支援物資は缶詰やレトルト食品が主流になりがちなので、生鮮野菜は健康面で欠かせません。また、料理をする、という行為が避難生活から日常を取り戻す役割を担うのかもしれない。やはり、食べることは生きることにつながるのです。

この日、配られたジャガイモやホウレンソウなどの野菜は、地元の商店から調達したものだそうです。能門重蔵さんは「今は少しでも地元の経済が回ることが大切なんです。

それで地元の商店も損をせず、被災した人も喜んでくれれば」と話します。そして続けて、池端さん、上田さん、田井さんと同じことを口にしたのです。

「もともと、少子高齢、人手不足、事業継承といった問題はそれ以前からあって、この震災で加速してしまった。だから、震災前の状況に戻るのが目標ではなく、もっとその先を目指さないと駄目だと思う」

おそらくこの町の人は、過去に戻ろうではなく、未来を見据えているからこそ、今を強く耐えていられるのかもしれない、と感じました。

取材中の夜、町を歩いてみました。十三夜から満月の日、月光が震災で倒壊した建物を青白く浮かび上がらせる。美しい月明り、それが照らす悲劇の跡。そのコントラストは何を僕に語っているのでしょうか。しばし佇んで、考えてみたけど分かりません。でも、同じ月でも東京とは違うように感じられた。ここに来なければ感じられなかったこと、分からなかったこと、会うことがなかった人々。やはり能登に来てよかった。

その始まりは小さな泣き^{なみ}。それがやがて大きな声になって、大勢の読者に伝わるのだとしたら、うれしくなってきた。声に出すことの大切さ、行動することの価値をかみしめつつ、取材を終えた今、読者の皆さんに大きな声でお願いしたい支援はただ一つ。僕を大好きな能登に呼んだ声ときっと同じこのひと言。

「忘れないで、能登を」

久保田英男

鎌倉RC会員(職業分類…菓子製造販売)。今回、好天に恵まれたのですが、その話題になると地元の方は決まって「弁当忘れても、傘忘れるな」と言います。それほど雨が多いのですが、食いしん坊の僕は「いやいや、傘より弁当でしよう」。そして最終日は土砂降り。地元の方の話は素直に聞きましょう。

—— 震災で加速した問題の数々。
だから震災以前ではなく、その先を目指さないと





1

2

3

- 1 上田農園の近くには、川の氾濫で押し流された倒木が集積されていた
- 2 上田氏(左)への取材の様様。畑には水害を受けた野菜が廃棄されていた
- 3 田井氏(中央)への取材は、穏やかな秋の光に包まれた輪島港で行った

—— 休漁期に、漁師が蔵人を務める。
輪島では手が空いているなら手伝うのが当たり前



教わったことを思い出しながら上田さんの話を聞くと、土も生き物だとさえ思えてきました。

この状況、上田さんもさぞ落ち込んでいるのか、と思っていたが、「丈夫なハウスも建てたし、少しずつですが、元に戻していきますから」と本人は至って明るい。「トマト、特にサンマルツァーノという品種の栽培に力を入れていて、ここで作ったものは、池端シェフをはじめとした地元料理人や東京のレストランでも使っているんです」。サンマルツァーノは加熱用のトマトで、イタリア料理のトマトソースによく使われています。身近なところであれば、トマトの水煮缶でよく見るアレです。「ここがそのトマトのハウスなんです、今はまだ土作り中なので」と苗すらないハウスを指さし、「食べてもらいたかったなあ、生てもうまいですよ。また来てください、もっとおいしいトマトを作ってみせますから」と自信にあふれた笑顔で話す上田さん。

野菜作りには確固たる哲学があるようで、野菜農家さんというより、自然を相手にする芸術家・アーティストのよう。野菜作りに熱中できる理由を聞くと「何しろ僕はハウス育ちの箱入り息子ですから」と笑う。上田さんは幼少の頃、ビニールハウスにある空き箱に入れられて、両親の仕事ぶりを眺めていたという思い出になぞらえたジョークでも、きつと両親の後姿を追っていたことで、彼の作物作りへの関心と愛情が育まれたのでしょう。何ともほのぼのとした、また、うらやましい話ではありませんか。

「できれば毎日、朝から晩まで野菜と一緒にいたい」と語ってくれた彼なら、きつとまた日本中の料理人が欲しがる野菜が実る畑にのみがえらせてくれるでしょう。毎日、野菜作りに没頭している上田さんも2人の「箱入り娘」のお父さん。ご本人のリフレッシュも兼ねて、たまには彼女たちをどこか遊びに連れて行ってあげてほしいなあ、なんてこ

とも思っちゃいました。

輪島での酒造りを継続！ 老舗・白藤酒造の心意気

能登には十数軒の酒造場がありますが、ここごとく被災し、今季の仕込みは能登から離れた酒蔵の支援を得て行うところが多いそう。老舗・白藤酒造はこの地で酒造りを続けることを決めた数少ない蔵元です。ここで造られるお酒は、日本海から吹く風で育った良質な酒米と能登の山々から湧き出る水が決め手。まさに能登の風情を凝縮した味に仕上がっているのです。

また、原料だけでなく仕込みも能登の人で行うのもその味を決める要因でしょう。酒の仕込みは冬、この時期は休漁期になった漁師が蔵人として酒造りを担います。物も者も皆メイドイン能登。しかし今季、地元の酒米は確保できているのに、地震の影響で漁師の多くが輪島を離れたという事情があり肝心の蔵人が足りないため、量を制限しての仕込みとなるそう。

白藤酒造では「能登の酒を能登の者が能登で造ることを守ろう」と、家族だけで仕込みを行うことを決めたため、生産量に限界が生じたのです。「それでも、自社の蔵で酒造りを続けることが重要」と九代目蔵元・白藤喜一氏は話されています。1年でも早く、かつてのにぎやかな酒唄が聞けるようになってほしいものです。

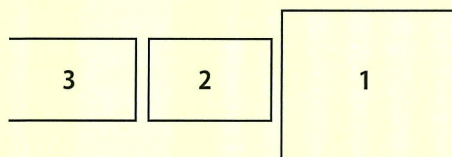
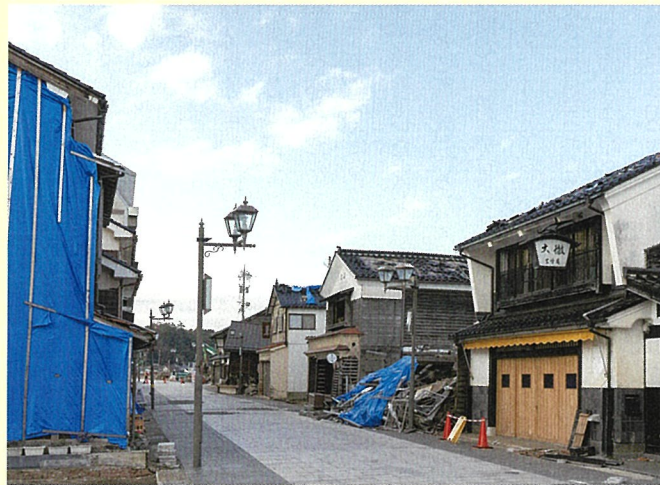
休漁期の漁師さんが蔵人を務める……。そう、どうやらここ輪島では、業種間のバリアが低く、「手が空いているなら手伝う」のが当たり前のようです。それならば、漁師さんからもお話を聞こうと、輪島港へ。

若き漁師が見据える 輪島の海の未来

能登半島地震で、港が2メートルほど隆起したという報道は何度となく見てきたものの、実際にその場に立ってみると、自然の恐ろしさを感じます。護岸の支柱はあらわになり、本来、はしを上って乗る船は桟橋より低い位置に浮かび、競りを行う卸売場はゆがんでいる、というありさまでした。「漁に出られるようにはなっただけ、人手も足りないし、荷揚げするにも場所が限られていて」と寂しそうに話すのは、まき網漁をなりわいとする田井太也さん。「12月3月は休漁期で、そろそろ海も荒れてくるからその前に船を出したいんですけどね」とうらめしそうに沖を見つめる。海の男らしく寡黙な彼に「僕が最後の夕食で食べたいのはサバの塩焼き」と話すと初めてクスッと笑い、「僕もサバ大好きですよ、塩焼きってのがいいですよ」。少しは距離が縮まったのかな。

この震災で家を失い、仕事も半ば休業状態に。まだ30歳と若い彼は、家族のために輪島を離れることも一時は考えました。「でもいい所なんです、サバやアジもうまいし」。彼も本来、冬には酒造りを手伝うそうです。しかし、今季はいつもの酒蔵が遠方で仕込むので、別の仕事をするとのこと。会う人みんな働き者で、地元が好きなきことが伝わってきます。

彼は、直面する別の問題についても語ります。それは、この震災がきっかけで、上の世代の引退が加速したことです。船や漁具が進歩しても、能登の海は能登の海。その海を知り尽くした者から教わるには、一緒に漁に出て海の上で学ぶしかありません。その機会が引退という形で閉ざされることが、この地の若い漁師にとって最大の不安であるよう



- が集まる理由がよく分かりました。幾多の困難を経て、彼の頭の中には常に、輪島の食文化発信のためのロードマップが描かれているのでしょう。
- 最初の約束では「忙しいのであまり時間が取れないかも」と言われていたのに、1時間近くも取材にお付き合いたただきました。とにかくフレンドリーな方なので、時間がたつのがあつという間。確かにここまで親切に対応していたら、忙しくなつてしまいますよね。

まるで芸術家!?
野菜に恋する箱入り息子

「mebuki - 芽吹 -」は、震災後に建てたお店なので、居心地は快適そのもの。中にいると被災地に居ることを忘れてしまふのですが、一度外へ出ると歩道はガタガタ、ちよつと気を抜くと転んでしまふほどの荒れようです。現実には引き戻されつつ、池端シェフに紹介していただいた上田農園へ。

少し高台にある作業場で、農園の代表・上田拓郎さんとお会いし、まずは名刺交換。彼の名刺には青い空と白い雲を背景に、奥に深い緑の山、手前に爽やかな緑の畑、中央にはビニールハウスが並ぶすてきな写真が印刷された印象的なものなのです。「良い写真でしよう。まさにこの場所から撮ったものですよ」。同じアングルで見ているのだが、そこに広がるのは流水が積み上がり、雑草が生い茂り、遠くからも泥に覆われている荒涼とした光景で、「写真の面影はありません」。

震災で建物や大切なビルハウスが被災した上に、洪水の被害。農家にとってそちらの方がより深刻でした。畑の土作りは手間暇がかかる上に、流れ込んだ土砂土泥が覆うと、それをよけても元の土には戻らないので、改めて土を作らなくてはならないのです。以前、僕が農業研修を受けた時に触った土、それはそれまで知っていた土ではなく、フカフカしていた軽く、このような状態でないとおいしい作物は育たないとい

—— 輪島は料理人にとって、
食材の宝庫であり、人材の宝庫でもある



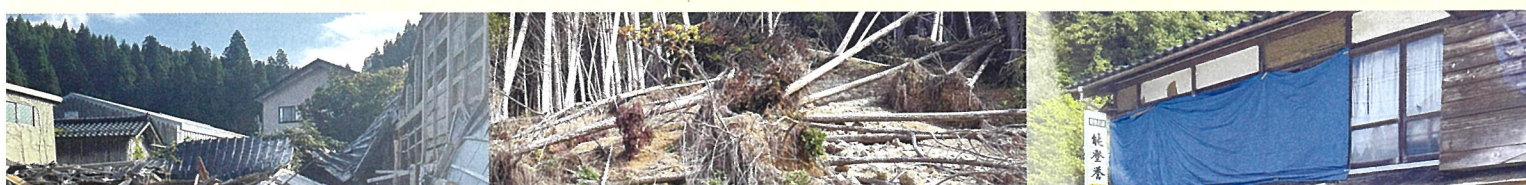


前を向く生産者が集う 飲食店「nebuki-芽吹-」

輪島に到着してまず、「nebuki-芽吹-」という飲食店へ直行。ここを主宰する池端隼也^{としや}さんを取材するためでした。池端さんはフランスで料理の修業後、地元・輪島でミシュランの星も獲得されているフランス料理店「ラトリエ・ドゥ・ノト」で腕を振るっていました。それがあの震災で店舗が全壊。その惨状にがくぜんとしたが、「失ったものより、残ったものを大事にしよう」と残った食材や器具を使って、誰よりも早く炊き出しを開始。次第にそこへ仲間たちが集まり、地域の人たちのために毎日、温かいものを提供し続けました。

自分の店を失った飲食業従事者仲間の働ける場所をつくり、地域でようやく動き出した経済を少しでも回すため、そして、町の人や輪島を訪れる人のために、老若男女誰でも気軽に利用できる飲食店の開店を決意。その夏に「nebuki-芽吹-」をオープンしました。しかし、その矢先に豪雨災害。震災から立ち直り、前を向いて動き始めたところだったので、地震の時以上に心が折れ、そこから再度、前向きな気持ちになるには、かなりのエネルギーが必要だったそうです。

食材の宝庫・輪島は、料理人にとって最適な土地であると同時に、必要なものを作ってくれる人材の宝庫でもある、と池端さんは言います。池端さんはいちいち牛乳を手に入れるため、ジャージー牛を自身で所有しています。それを信頼できる酪農家へ預けて、料理や新鮮なチーズ作りに活用。これは、人材ネットワークと確かな畜産の技量の二つがそろって初めて可能になります。池端さんは今の日本の酪農におけるシステムが、牛乳の安定供給に寄与していることは認めつつも、「そこから逸脱しても良いものを作りたい、自分のやりたい方法で頑張りたいという生産者と、一緒に成長していきたい」と少年のような表情で語ります。その姿勢に、彼の周りに人





作られていない「フグの卵巣のぬか漬け」や一般の家庭でも作られる発酵食品文化があったり、ユネスコ世界無形遺産にもなった「あえのこと」という田の神様を祭り、五穀豊穡を祈る農耕儀礼が現代にも受け継がれていたりします。また、「輪島塗」や「能登上布」という織物など、高品質な工芸品があると思えば、「合鹿碗」という幻の漆器もあるらしい……などなど「なぜ」や「不思議」の多い地域だからです。

あのひと言から、「北陸編」は特別編になり、現地取材もほとんどん拍子で決まりました。秋から冬に季節が変わる11月、僕は北陸新幹線の中にいました。まるで呼ばれるかのように。

金沢から取材先の輪島までは車で、「のと里山海道」を北上します。日本海と能登の自然豊かな山々を眺めながら走り始めると、この道が「日本の道百選」に選ばれたのは当然のように思うのですが、海を離れ山側に入ると景色は一変。急に激しく車が揺れ始めます。道路はひずんで波打ち、路面の一部は地割れ、ある所では道路そのものが崖の下に落ちていて、というありさまです。所々、仮設の道に迂回しなければならぬ状況。もちろん、これらは地震の影響なのですが、能登へ近づくとその後に起きた豪雨の爪痕が。山がゴッソリ崩落し、赤茶けた山肌がむき出しになっている風景が続きます。さらに行くと、屋根にブルーシートがかかる民家が多くなり、倒壊したまま放置された建物も目立つようになり、やがて輪島市内に入ります。市内の光景はあまりにも衝撃的。町にはまだ至る所に崩れた家屋が放置され、信号機も電柱も傾いたままで、昨日、大地震が襲ったのかと錯覚するほど。震災が元日だったことを思い出させたのは、倒壊した家に押しつぶされて動けなくなった自動車のナンバーが僕の出身地域だったから。きつとお正月を実家へ過さそうと帰省していたのだらう。楽しいはずのお正月、神様も時に厳しいことをなさる。

につぽんふうど

北陸能登特別編



文・久保田英男（鎌倉RC）

「呼ばれる」ように向かった
北陸さいはての地、能登

春が近いある日。東京芝のロータリーの友事務所の会議室で、「につぽんふうど」の連載は決まりました。北から南まで日本の「食」文化を紹介しようという企画です。偶然なのか、意図的なのか、掲載計画表の1月号には「北陸編」の文字が。それを見て僕は、「北陸編は、能登震災の支援につながるいいね」。令和6年の始まりの日に能登半島で起きた地震を思い出し、何げなく呟いたひと言でした。僕にとって能登は大変興味深い土地です。この地でしか



神都三重のど真ん中碑

からお参りに来る人たちは多く、ロータリー会員の皆さんにもぜひ一度お越しいただきたい。

(第2630地区 三重県 施設医)

ロータリーソング 「我等の生業」が好き

豊橋 村井總一郎

三十数年前に私がクラブに入会して以来、いろいろなロータリーソングを先輩から教わりました。中でも「我等の生業」はテンポも良く、歌いやすいので、私は好きです。最近、地区大会のような大きな集会では「奉仕の理想」の方が多く歌われている印象です。その理由として、「我等の生業」の歌詞には、職業奉仕が今よりもロータリーの金看板とうたわれていた頃のイメージがあり、今の奉仕活動との結び付きが薄いと解釈されているのではないかと考えています。そこで、「我等の生業」が職業奉仕に限られた歌ではない、との観点から、歌詞を見ていきたいと思っています。

歌い出しは「我等の生業さまざまなれど」です。かつてのロータリーでは、この生業というのは事業や専門職に携わる人の職業の分類を指していました。今や特定の職業を持たない会員、つまり学生や主婦、奉仕団体の職員など、社会の中でいろいろな役割を持った人たちが入会しています。会員の多様性に合わせた歌詞であるとして、生業を収入源となる職業だけでなく、社会における役割と捉えても無理はないように思います。

次は「集いて図る心は一つ」と続きます。「集いて」の対象は、例会と考えられていましたが、今は奉仕を行う場と考えられます。集いとは汗をかく奉仕、行動実践する奉仕に参加する多くの人が集まる場、ではないでしょうか。そして心を一つにして、活動をしようとの意だと考えます。ここでの「心は一つ」とは、当然ながら奉仕の実践の心、相手を思いやり手を差し伸べる心であることは、今も昔も変わりないと思います。

次に「求むるところは平和親睦」という歌詞になっています。会員として集いの目的とすることは、平和であり、そのために皆が仲良くしていきたいと思います。私はこの「やわらぎ」「むつび」という言葉に、柔らかさと奥深さを感じ、とても好きです。

さらに「力むるところは向上奉仕」となります。会員個人として努力することは向上と奉仕、という解釈であるように思いますが、クラブという団体の活動としての一面も考えてみます。向上は文字通り人格の向上ですが、国際ロータリーの方針に沿えば、ロータリーの公共イメー

ジ向上も含むように思います。世界中の人が手を取り合って仲良くなり、奉仕活動をもって世界の平和を目指す。さらにその実践された奉仕の良いイメージを多くの人に伝え、より多くの人が参加し、よりインパクトのある大きな奉仕活動に結び付けていきたいと思います。と考えられないでしょうか。

ちよつと強引に、こじつけたような文章だと思われるでしょうが、この歌の詞は、職業奉仕から離れた世界も表していると思いますので、ロータリーのあらゆる奉仕活動にまつわる歌と認識して、もっと歌っていくのはいいかがでしょうか。

(第2760地区 愛知県 種こうじ製造)

うちの子

シェリ

- ・ヨークシャーテリア
- ・オス5歳



木戸 良樹 (埼玉県・川口モーニングRC)

甘えた時、叱られた時の仕草が、小さな子どもと同じく、かわいい。わが家では思いつ切り甘やかしているのかも。彼が来てから、家庭が明るくなりました。わが家の“かすがい”です。



へとへとになった夏期講習会

でしょうか？ 小中学生がほとんどです。中には、学校で剣道部の顧問になってしまつて……という方もいました。

講習は朝9時から始まり、夕方の4時過ぎまで。体育館は、子どもたちの気合の入った声が終止飛び交っています。私を指導してくださったのは県警のOBの方、剣道七段の方。「右、左、左、右、左」。厳しい声が飛んできます。休憩もほとんどなく、終わったところには手は棒のよう、足はパンパン。その日の夜は疲れ過ぎてあまり眠れませんでした。

そうして迎えた審査当日。審査を受けた部会メンバーは7人。審査の内容は、切り返し稽古、実技の後、木刀による日本剣道形を3本、基本技稽古法を9本。みんな必死で稽古をしてきました。緊張で少し間違えたりしましたが、なん

とか終了。結果は全員合格。みんな笑顔でした。まさに五十の手習い。次は初段です。

(第2770地区 埼玉県 建築士)

ど真ん中のよもやま話

津南 田島 和雄

ロータリークラブのど真ん中(中心)には、奉仕の精神がある。それを取り巻くのが、五大奉仕部門のクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕と認識している。とてつもない巨大なエネルギーがロータリーの輪を回転させ、世界的ネットワークを通じて、国際的な親善と平和活動が推進されている。

ここで、そのど真ん中についての話を展開してみたい。私はがん研究活動のために地球を100周以上は回ってきた。これまでの訪問先の一つでもあり、人の住む世界最南端はチリ南部のナバリノ島。そこにいた純系ヤーガン人は絶滅したが、最後の姉妹のリンパ球の細胞は、(国研)理化学研究所の液体窒素の中で生き続けている。一方、最北端はグリーンランドで、イヌイット(カリーリット)人が居住しており、私も中央部までは訪れた。

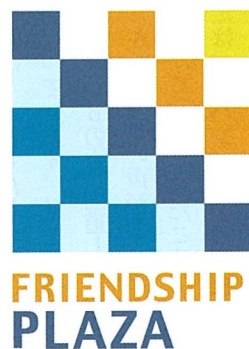
しかし、地球の東と西の端は存在しない。かつて日本列島は極東と言われたが、決して東の端ではない。私が南米アンデス地方を初めて訪問した時、日本人に極めて類似したアタカマ人の子どもたちが私たちを指差し、「コレヤ、コレヤ(韓国人、韓国人)」と言った。私は「ノー、

ノー、アレヤ、アレヤ」とは言わず、「ソイ、ハポネス。ノー、コレヤ(日本人だ。韓国人じゃない)」と答えた。彼らは日本がどこにあるのか教えてほしいと言うので、中国大陸の地図を書いて、朝鮮半島の東に日本列島を描いた。彼らは日本が中国大陸とつながっていると認識していたので、日本列島を見てびびくりした。それは、南米のパラグアイとウルグアイの地理関係を明確に表現できる日本人が少ないのと同じである。

さて、地球には地理的ど真ん中は存在しないが、各国各地にはある。「日本のど真ん中はどこ？」と尋ねると、多くの人は岐阜県かな？ 長野県かな？ 各地が主張し、日本のど真ん中が数十箇所も出てくるから不思議である。国土地理院では、日本の東端を東京都南鳥島、西端を沖縄県与那国島、南端を東京都沖ノ鳥島、北端はサハリンの中央部としていたが、ロシアに占領されてからは北海道択捉島として発表している。さらに国土地理院は「日本を平面と見なし、質量の中心を求めたもの(重心点)」として富山湾沖、その重心点に最も近い陸地を、地震と豪雨で大被害を受けた能登半島の碌剛崎(珠洲市狼煙町)としており、ここには「日本列島ここが中心」の碑が立っている。

ちなみに、われらが三重県のど真ん中は、北緯34度30分49秒、東経136度22分53秒。私が住んでいる松阪市柚原町の「蘭宇氣白神社」の境内にある。私の友人らが中心となつて、2024年6月に「神都三重のど真ん中碑」を建立した。この神社には疫病予防の神様として須佐之男命が祭られており、私のライフワークが、がん予防であることに因縁を感じる。各地

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

読・笑・吸・字・歩 100歳を生きる

静岡西 中村 功治

「本を読み、腹から笑い、深呼吸して、日記をつけ、まめに歩く。そんなふうにしてたら100歳になつてたなあ」と袴田先生は笑う。袴田文治さんは静岡西ロータリークラブ（RC）の創立会員。御年100歳（大正13年9月10日生まれ）で現役の外科医。ちなみに静岡西RCは来年度、創立50周年を迎える。

昼の例会にスーツでやってきて、皆に「元気かね？」と声をかけ、好き嫌いなく食事をし、熱心に卓話を聞き、時に質問してみたり。袴田先生が出席しているのにサボるわけにはいかない。会員の背筋を伸ばしてくれる存在だ。

昨年9月10日の例会内で、100歳の誕生日をお祝いした。会員の寄せ書きと花束をうれし

そうに受け取る姿に、お祝いできる幸せが満ちた。「旧磐田郡熊村出身の田舎者ですので、皆さまにはご迷惑をおかけしたこともあったかもしれない」とペコリ。「健康に留意いたしまし、これ以上長生きしては困るかとも思いますが、元気にやっていますのでよろしくお願ひします」

「ロータリー活動で一番印象に残っていることは何ですか？」の問いに思案顔。「たくさんやってきたし、どれもそうだけでも」と前置きし、「西クラブが主催した地区大会（1996年11月9～10日）だな。あの時に実行委員長をやったから。会員と家族で4200人の参加があったんだよ」

「ロータリーの良さは何だと思えますか？」。この問いにはニコニコ顔。「それはもちろん、人が良い。老若男女も立場の差も関係ない。そういう場所はないがたい」。続けて飛び出した、ブラックユーモア満載の医学界の話はオフレコにします。

袴田先生が大爆笑されたのが、次の問い。「100年後のロータリーはどうなっていると思いますか？」「そんなの分からないよ。でもね、みんなが楽しく元気にやっていたらいいよ。今と同じだよ」

そんな袴田先生の日常は、というと診察室で「大丈夫、私よりも若いんだから」と患者さんたちを励ます日々。趣味のゴルフではホールインワンが7～8回。エイジシュート（自身の年齢以下のスコアで全ホールを回り切る）は七十数回で、100回を目指す腕前。毎日の素振り練習のたまもの。続けることの大切さは、

奉仕活動にもつながる。請われて、ユーチューブに登場したこともある。何事にも興味津々、知らないことは積極的に知ろうとする。ロータリーも学び場の一つなのだろう。

次の例会でも、その次の例会でも、袴田先生と笑って話せる。ロータリーが楽しい理由が、ここにある。（第2620地区 静岡県 自動車販売）

五十の手習い

大宮西 荒井 理人

大宮西RCでは、さまざまな部会活動を行っています。ゴルフ部会、野球部会、それに書道部会や剣道部会も。今回は発足して約1年の剣道部会について。当クラブの伊田雄二郎さんは剣道七段。今も道場に通う剣士です。伊田さんの会社は東和アークス（株）、実業団剣道大会で全国に名をはせる会社です。先生はいる。道場はある。ならばと、軽い気持ちで発足した剣道部会でした。

初めのうちは竹刀を振って軽く汗をかく程度でした。終わった後は「第二道場」という名のお疲れ会で、ビールのおいしいこと。しかし、防具を購入したところから内容は一変。せっかくなら昇級審査を受けようということになり、汗がしたたる練習になっていきました。そんな練習を数カ月、ついに一級審査の日が近づいてきました。練習不足だった私は、審査の前日に松山地区剣道連盟が主催する夏期講習会にロータリーの仲間と2人で参加。50人以上はいたで

茂木健一郎さん。豪華メンバーである。大江健三郎さんや谷川俊太郎さん、立花隆さんら著名人が参加した実績もある。この催しはセンターの一大イベントなのだ。

「これだけの著名人が小樽にそろうのは珍しい。遠方から小樽に来るのを楽しみにしている会員も多く、チケットは今回もすぐに完売した。ネット配信での視聴の申し込みもかなりあったようです。文化セミナーの後にホテルで行う祝賀会では、アマンチスがバンド全員そろって久しぶりに演奏します」

当日は朝から雨が降るあいにくの天気だったが、収容450人の会場は満員の盛況。会場では講師4人がそれぞれに語り、シンポジウムも展開した。個人的には茂木さんの「将来的にAIは名著を生むか」という問題提起がすごく興味深かった。

ところで文化セミナーの後半に、工藤さんは会場を抜け出している。タクシーで祝賀会場へ。アマンチスの演奏リハールのためだ。

メンバーは7人。ベースやドラム、キーボード、エレキギター、それにバイオリンまで入っている。バイオリンの女性はウィーン国立音大を卒業したプロで、工藤さんの基礎講座を受講した16期生でもある。さだまさしの歌を歌うボーカルの湊亨さんは12期生で、センター常任理事も務めている。工藤さんに誘われてバン

ド仲間になった人たちだ。

それぞれ仕事を持っているので、なかなか全員集まって練習する機会がない。祝賀会が始まる直前までの1時間半ほど楽器の音量調節などをして、声を出しながら練習をした。工藤さんは何度か、

「今日は声があまり出ない」

と首をかしげていたが、メンバーの湊さんは「半端ない人ですから」と言う。

祝賀会には工藤さんが在籍する小樽南ロータリークラブの仲間も出席していた。クラブはセンターが主催するブックスタート(乳児に絵本セットを贈る事業)や小樽こどもの詩コンクールに協力しているからだ。ちなみに湊さんも同クラブの会員で工藤さんが会長をした時の幹事だそう。

祝賀会は34期生の修了式やレポート大賞授賞式の後、茂木さんがスピーチで、「アマンチスの歌を聴くと1年間の無病息災が保証される」

と持ち上げた。工藤さんやメンバーが壇上に立つと、会場がにわかに騒がしくなった。

アマンチスのファンクラブ会員たちが「くどう先生」などと書かれたうちわやペンライトを振りながら壇上近くまで追って、もうノリノリ。ビートルズやさだまさしの曲など7曲が演奏された。工藤さんが歌い始めると、紙テープが何カ所からも飛んでくる。まさに人気バンドのステージだった。



工藤左千夫(小樽南ロータリークラブ) 特定非営利活動法人絵本・児童文学研究センター理事兼所長。1951年旭川市生まれ。89年小樽で絵本・児童文学研究センター開設。生涯教育として全54回の講座を開講し、現在全国に1500人以上の会員(通信会員を含む)がい

る。2002年小樽南RC入会。18-19年度会長。21年文化庁長官表彰。23年小樽市功労者表彰。著書に『新版ファンタジー文学の世界へ』、『すてきな絵本にであえたら』、『学び力』(河合雄共著)など。



き受けるようになりました。講演技術は経験で向上しましたが、各地で話す内容は同様で、次第に掘り下げは低下していくと感じるようになった。継続性のある講座でも主催者の都合もあって、せいぜい10回ほど。悩みながら気分転換に自分で講座メニューを考えてみたら、50案を超えた。そこで絵本センターの構想が芽生えたのです」

思いを小樽が拠点の「子どもの未来を考える会」の仲間に話すと、予想以上の賛同者がいた。しかし、継続的に使用できる教室や常勤職員の確保など、センターオープンまでには想像以上に難問が多かった。発足資金を何とか工面し13年勤めた出版社を辞めて、絵本・児童文学研究センターを小樽で開所したのは、1989年である。札幌ではなく小樽で歩み始めたのは「札幌はミニ東京になっていた。地方にこそ文化は生まれる」との考えからだ。

「1期生は40人ほど集まりましたが、開設当時は資金繰りが大変で貧乏経営。両親が小樽に住んでいたため、実家に転がり込んで3〜4年は面倒を見てもらいました。センターが発展したのは、河合隼雄先生が顧問になられてからです」

センターが主催する第1回文化セミナー「大人への児童文化の招待」に河合さんが出講したのが92年。ここでセンターの基礎は築かれた。工藤さんと河合さんはとても話が合った。工藤さんがセ

ンターへの顧問就任を打診すると、河合さんは二つ返事で引き受けてくれたそうだ。河合さんはその後もセンター正会員のため、年1回の講座や児童文学ファンタジー大賞の創設に携わり、文化セミナーの企画など、毎年小樽に来て幅広くセンターを支えた。

センターは、2002年に特定非営利活動法人として登記された。会員の裾野は広がり、経営的にも安定したが、大きな危機もあった。工藤さんが04年から足の難病を抱えたのだ。3年にわたって手術、入退院を繰り返している。顧問の河合隼雄さんは脑梗塞で倒れ、07年に亡くなった。事務局の頑張りと解剖学者の養老孟司さん(後にセンター名誉顧問)らの協力などでセンターは維持発展ができた。発足当時から会費を値上げしていない。工藤さんの意地だ。コロナ禍の時も、講座をDVDで会員に送ることで対応できた。

祝賀会でバンド生演奏 壇上近くでファンは熱狂

24年11月17日、第28回文化セミナー「人間と文学」が小樽市民センターで開催された。ぼくは工藤さんから電話で事前に聞き、取材をこのセミナーに合わせて小樽にやって来た。今回の講師は養老孟司さん、児童文学作家の斎藤惇夫さん、作家の林真理子さん、それに脳科学者の

JR小樽駅下車。正面の大きな中央通を運河に向かって徒歩3分ほどのビル4階に、特定非営利活動法人、絵本・児童文学研究センターがあった。「大人のための児童文学講座」という生涯学習の場である。センター事務局に隣接した教室の壁際には、数千冊の児童書などがぎっしり。ここが講座の会場である。今回の主人公、理事長の工藤左千夫さんが教室を案内しながら語る。

「センターでは月2回、2年半で全54回の基礎講座を開催します。直接小樽に来て受講する会員とDVDで聴講する通信会員がいて、会員の年齢構成は20〜80代。これまでに全国で4300人以上が受講しました」

通信会員はDVD受講後にレポートを提出するのだから大変だ。工藤さんはこの基礎講座をたった1人で担当している。理事長室に案内される。書架には難しい哲学書や心理学の本などが並ぶ。棚の前に、ちよつと想定外な感じで「アマゾンチス」なるバンドの写真が何枚も飾られていた。実はこのバンドのギターとボーカル担当が工藤さんなのだ。5000人を超すファンクラブもあるというから驚き。特製ポストカードまである。

「今、募集中の会員は37期生になります。開設当初は私より年上の会員が多かった。しかし36年も続けていると、今はほとんどが年下です。過去には旭川市から毎月通ってきた80歳の女性もいまし

た。今度修了式に参加する34期生には東京大学の特任助教授になった中国人女性もいます。アマゾンチスですか？ 趣味のバンドで、仲間と20年ほど前に結成しました。以前は年に3〜4回ライブをやっていたましたが、私が足を悪くしてから回数は減りました」

講座には児童文学の世界に心理学や哲学的観点も取り入れている。アンデルセンの文学やグリム童話などさまざまな作品に触れつつ、進められていく。カルチャーセンターなど、生涯学習の教室は全国にあるが、児童文学に特化したセンターはここだけという。

講座に足を運ぶ会員は札幌市からが一番多いが、通信会員は全国に散らばっている。基礎講座の他に月1回の正会員ゼミや著名人を招いての文化セミナーも毎年開催している。基礎講座を修了した後にも、もっとセンターで学びたいと正会員ゼミに転じ、学びを深める人が多いのがこの特徴だ。工藤さん個人のファンも多いそうだ。

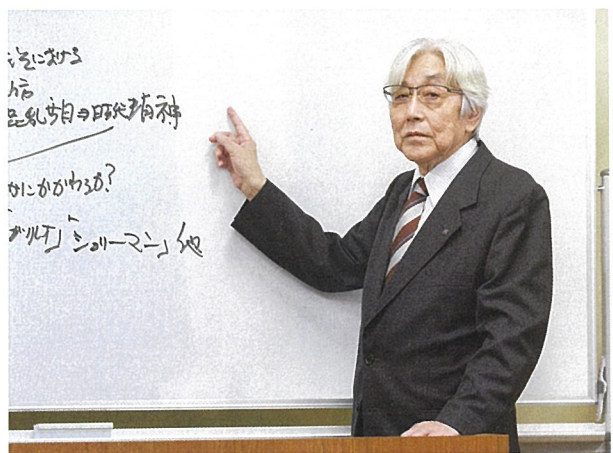
心理学や児童文学論は独学で地方にこそ文化は生まれる

まずは工藤さんの簡単な略歴から。旭川市生まれ。父親は公務員、北海道郵政局に勤めていた。3人兄弟の末っ子。子どもの頃はプロ野球選手に憧れ、小中学校時代は野球に熱中した。高校に入ると

硬式テニス部に。全道でベスト4の成績を収めるほど腕を上げた。

「運動は好きでした。勉強はそれほど好きではなかったが、小学校時代は本好きで、学校の図書室にある本を片っ端から読んでいました。2人の兄が理系で成績が良かった。私も引く張られるように勉強しました」

北海道大学に進み、教養課程にいる時に西洋哲学、特にヘーゲルに興味を持った。学生運動が盛んな時代。工藤さんも在学中、ヘルメットをかぶって活動したこともあったそうだ。その後、北大を3年で中退、師事したい経済学の教授のいる北海学園大学に再入学した。卒業後は道内の出版社で営業や出版を担当した。「絵本や児童文学など教育関係のセッ



上：河合隼雄さんと工藤さん（絵本・児童文学研究センター提供）下：教壇に立つ工藤さん

ト販売を担いました。主に学校相手でしたが、個人宅に行つて、子どもさんのためにと両親に説明して販売することもあった。適当なことを言つて本を売るのは嫌だった。心理学や児童文学論など独学で勉強したのはこの頃です」

のめり込むと徹底的に研究する性分なのだろう。フロイトの精神分析学、ユングの分析心理学、特に河合隼雄さんの深層心理学を知るため、彼の著書は全て読んだという。知人に自分の児童文学論などを展開すると、図書館などから講演の依頼が入るようになった。講演回数が増えるたびに研究も深めていった。

「最初に根室市図書館で講演した時は、緊張しましたよ。その後、札幌、小樽、倶知安、苫小牧の4カ所で連続講座を引

大人の児童文学講座始めて36年
人気先生はバンドのギタールボーカル



この人
訪ねて

工藤左千夫

さん

小樽南ロータリークラブ

た時の伸びは大体同じです。無駄をさせて、無駄に気付かせ、最終的に無駄をなくすということを考える。無駄を経験しなかった人には、無駄というものが分かりません。

教えないといっても、学びに対する雰囲気があれば駄目です。先輩方が腕を磨いている雰囲気の中にいれば、後に続く者は自然に覚えていく。その雰囲気が大切。その中にいれば、「捨て育ち」でよい。うちの場合、その雰囲気は弟子たちがつくっています。ですから私は毎日、とぼけて過ごしています。教えずして学ばせる。それでいいのだと思います。

ただ、以前は職人技を楽しむ「普請道楽」と言われる方々が世の中におられ、私もそういう人に褒められたり、怒られたりしながら育てられましたし、その人たちが励みにもなりました。今はそういう人もいなくなって、電動道具も現れて、魂の入った建物ができにくい時代になってきてしまいました。

時代の変化も早く、目と耳で学べる知識は何とかなりますが、手と体で覚えていく仕事は、大変長い時間をかけて技術を体得させます。ですから、一朝一夕には育たない職人には、難しい時代になりました。

古代建築を造り、守ってきた技は、文字や数字ではない。手、体の記憶です。建築物として残るものであり、次世代への人にうそ偽りのないものを伝える必要

がある。法隆寺の昭和の大修理の時、わが師匠・西岡常一棟梁はじめ現場の職人たちは、間違いないものを造った1300年前の工人と対話できたので、飛鳥の姿が再現できました。何百年か先に、また解体修理された時、執念で造っていたれば、令和の大工の工夫を読み取ってくれる人が現れる。

本物を造っておきさえすれば、技術はまた蘇る。つまり、本物とはいつの世でも変わることなく、心を打つものです。

ただただ 刃物を研ぎなさい

かつて常一棟梁が「今日のカラスは白かった」って言われたことがありました。「カラスが白く見える？」と一瞬思いましたが、師匠が白いと言うんだから白いんだろなあ、と。「カラスは黒いです」と言い返している間は弟子ではない。見えるものしか見えていない。見えないものもある、ということを理解している段階にない、ということ。

我を持ち、自己主張を続けると苦しいものです。我を捨てて、自分の親方になりければ、修業は苦しくない。つまり、親方を外から見るとではなく、内に入り込む。自分を持つのは、修業を重ね独立してから持てばいいのです。

常一棟梁が亡くなった時、新聞記者に「どんな親方でしたか」と聞かれ、戸

惑いました。全然分からない。どういう人だったのだろうか。これも、自分が師匠に同化しきって生活していたからですね。棟梁は「法隆寺に鬼がいる」と言われたほど、自分自身に厳しく生きた人でした。そして、厳しく生きた人だけが感得た、本当の優しさを持った人でした。厳しさのない優しさは、甘えにつながってしまいますね。

その棟梁が残してくれた額があります。「鳩工舎の若者に告ぐ。親方に授けられるべからず。一意専心、親方を乗り越す工夫を切磋琢磨すべし。これ匠の道の真髄なり。心して悟るべし」

まだ何も分からないうちは、我を出してはいけません。どうも今の子は我を出してしまうらしく、修業が苦しくなるんでしょうな。最初は、先輩の言われたことをいかに忠実にできるかが問われるわけです。当たり前のことを、当たり前から厳しくされるだけなのに。師匠の方向に自己主張なく、素直に受け止めてまず、実行してみることが大切。ですから、素直に聞けば伝わる。そして素直に触れ合いは、教える側も教わる側も疲れというものがない。

師匠として一番大切なことは、真摯なものづくりに徹することです。棟梁は、心の中に燃える火を持つていなくてはなりません。その燃える火が作用して、弟子の心にも火を灯します。棟梁は、心の

中の火が失われたら、その座を去らねば、辞めねばなりません。

常一棟梁から最期の頃、煎じて煎じ詰めれば最後は勘、という話を聞いたことがあります。その勘とかコツと言われるものは、人に直接伝えることができません。結局、技を得ようとする人が、自らの練習と努力で、自分のものにしていかなければいけない。その技とは長い鍛錬の後に、身体に形成されていくもの。

そして、ちょっとした違いに気付く。そのちょっとした違い、ちょっとした切れ味、ちょっとした美しさ、そのちょっとした違いを感じ取れるように「ただただ刃物を研ぎなさい」。

(ホスト 名寄RC)

SPEECH



(株) 鳩工舎 総棟梁
小川三夫

1947年 栃木県矢板市生まれ。69年 法隆寺宮大工・西岡常一棟梁の唯一の内弟子に。法輪寺三重塔、薬師寺金堂、薬師寺西塔の再建に副棟梁として携わる。77年 寺院建築専門の建設会社(株) 鳩工舎設立。総棟梁。現在に至る。

人は素直になれば、心の目と耳を得ます。最近、やつとそういうことが分かるようになってきました。ふぞろいの木、1本1本が支え合って、あの五重塔は建っている。そのふぞろいが、あの美しさを出しているのです。

無駄をさせて、 無駄に気付かせ、 無駄をなくす

77（昭和52）年5月、私は「いづるが鶴工舎」として独立し、弟子を取る時代に入りました。大部屋で、みんなで生活をしました。今の子は個室育ちが多いので、まず集団生活に苦労するようです。一緒に生活をする中で、辛抱や忍耐が自然と身に付きます。多くの人と触れ合っているうちに、人は優しさと思いやりがなければ生活できない、自己中心的では生活できないことにも、気付いていきます。

一つの建物を造るためには、本当に長い長い月日がかかるのです。巨大な材木を扱う中では、打ちひしがれそうになることも度々あります。その時、同じ空気を吸って、同じ飯を食べて、同じ目的を持って修業する仲間同士だと、言葉に頼ることが少なくなります。言葉が要らない境地です。弟子たちを見ていると、自然と相手を理解していき、いたわり合う優しさが湧いてくるように見えますね。木材一つを持つにしても、力のある子が

重い方へすつと自然に走ります。

枝打ちの名人から聞いた話では、「抜き枝」といって枝を数本払ってやると、木のバランスが取れ、まっすぐに育つか。木も弟子も同じです。一緒に生活していなければ、弟子たちの抜き枝はできません。生活を共にして、触れ合っていく我慢比べ。人は育てるのではなく、育つのだと思います。

「うちの子は手先が器用、宮大工に向いています」とあいさつに来る母親もいます。でも、職人技と素人の器用というのは、全く違います。器用な子は何をさせても一通りできますが、ずばぬけていない。そして器用に溺れやすい。不器用

の一心、この一心を持った子に上達の見込みがあります。10年も修業すれば、器用、不器用の差はなくなりますから。

「刃物、研いでおきなさい」「はい」。研いで研いで、針になってしまった。言いが極端かもしれませんが、そのぐらゐのアホさ加減でいい。今の子にはそんなアホはいません。ちよつと研いで「これでいいですか」と持つてくる。知識がある、仕事にどっぷりと首まで浸らないの、しょう。アホな子はその仕事しか見ない。そのひたむきさが、仕事の楽しさにつながると思います。

また、宮大工の世界では、教わることは甘えにつながってしまう。初めから教



千葉の日本寺仏舎利塔（三重塔） 写真提供（株）鶴工舎

えないで、本人に学ぶ気持ちで湧くまで待つ。先輩が目の前で鉋をすうすうかけている姿を見たら、後輩は「早くあいうふうになりたい」と思う。その様子を見計らって鉋を貸し「削ってみ」。後輩はうれしくて材が板になってしまいうくらい、削るものです。大抵、その夜から仕事ぶりが一変します。人間が変わります。真夜中の12時過ぎても研ぐようになります。「寝ろ、このバカ」と周りが怒るくらい。道具を研ぎながら、自分を研いでいるのです。

その瞬間が立ち起こるまで、教える側は待たなくてはなりません。黙って放っておく。捨てて、育てるということです。本人なりの工夫をさせ、考えさせる必要があります。教えた方が早いです。でも、目的地までたどる道はたくさんあっていい。遠く回り道をする子、遅くなる子は待つてあげればいい。まだ一人前でない時に、無駄なこと、下手な考えを重ねることが大切です。

一般企業であれば、こうはいきません。無駄を省き、即戦力を求めますから、すぐに教え込まねばなりません。しかし、うちは何年も放っています。でも放任ではありません。一緒に暮らして常に見守っています。5〜6年たった頃「こんなやり方もあると違うか」ぐらゐの一言が、その子には十にも百にもばーんと響くんですね。スタートからの進捗は多様ですが、器用も不器用も10年ぐらゐいたつ

それから2000年ほどで強度が増します。それから1000年ぐらいかけて弱ってはいくのですが、それほど耐用性のある最強の材なのです。昭和の大修理の時、五重塔の取り替え材は35%でした。あとの65%は1300年前の木、そのままとなったくらい強いのです。

私が法隆寺や薬師寺の塔の中に入ってみて感じたのは、本当に木の塊だということ。人が木と格闘した跡がありありと見えます。古代にはまだノコギリがありませんでした。細かい細工ができるノコギリは室町時代に登場したので、それ以前は木を割って製材しました。ですから、扱う材の仕上がりがどうしてもふぞろいなのです。それをまさに「適材適所」、ふぞろい材で五重塔までも組み上げていく。これは本当に大変なことで、今の建物のように設計図が準備され、寸法が決まっていて、規格化されたきれいな材を組み上げれば終わり、ということではないのです。

究極、材はふぞろいでも建物を造ることは可能だということ。材の芯を見つけて墨打ちし、そこから計算しておけば仕事はできる。ふぞろいの材を組み上げられる技術を持つ棟梁がいればこそ、古代の塔はできました。

そんな宮大工には「木は生育の方位のままに使い」という口伝があります。生育環境のまま材木として使いなさい、ということ。東大寺の国宝・転害門は

奈良時代の建造物です。この建物は西向きに建っていて、ぐるっとどの方向からでも見られます。正面である真西側はつるつるできれいですが、真南から見ると節だらけ。木は生育する中で南側に枝が出るので、南側は節のある材になります。転害門はまさしく口伝通り、生育のままに材を使っているの、奈良時代から今まで、倒れずにもっているのでしょうか。

そして宮大工の施主は仏様、神様。なので、施主は文句の一つも言われません。何も言われないけれど、人々が安心して頼れるような、心の拠り所をつくらなければならぬ仕事ですね。

伝えて伝わるものが知識 直接、感じるものが知恵

東大寺の大仏殿の修理も経験しました。その時、私は二つの大きな松の梁に出合いました。梁は江戸時代、九州の霧島山に生えていた赤松材を使っていました。長さが23^材50^寸、その元口（丸太材の根元に近い方の切り口）は1・5^材ほどになる大きなもので、こんな材が取れる巨木を、水運で奈良の都まで運んできたのです。木が生えていた霧島山から海岸に下ろすまで約60^{キロ}、運び出すには10万人の人と牛4000頭をかけ、運び出した計算になるそうです。

大変な仕事です。でも、その巨大な松の木を使って再建した元禄時代の建物よ

SPEECH

り、奈良時代の、創建当初の東大寺の建物はもっと、大きかったのです。気の遠くなるような作業を人の力を合わせ、建てたのだと思います。巨大な木材がそろうか、技術的に可能かどうか、未確認のまま、当時の人たちは造り始めたのでしょうか。今のようない設計図もない、工具もないまま、東大寺のみならず、奈良の都をほぼ60年の歳月で造り上げました。人の力の知恵をよく振り絞ったな、と思います。

私が思うに、伝えて伝わるものが知識で、体の中から湧いてくるものが知恵、ではないでしょうか。知恵は、日常の生活や経験の中で身に付く「技」という形で現れる。ですから、職人技を自分のものにするには知識だけでは無理。そこに知恵が入ってこそ、自分のものになっていく。

そこで、手の力、手の技術で使いこな

す自分の手道具を、「刃を研いで」整えることが、職人の基本となるのでしょうか。機械に頼り己の手を失った技術からは、職人の技は生まれにくい。不思議なもので、自分に合った道具を持った職人は、その道具に恥じるような仕事はしたくなりません。宮大工の道具とは、人間がものづくりをするための手、指の延長なのです。切れる刃物と工人の思いが、建物を造り上げる。物は執念で造るもので、工作技術のみでは駄目なのです。

そして、執念でものづくりをする人間だと、出来上がったものに何かしらの不満が残る。「もっと出来たのではないか」。その不満が、次の仕事への気持ちを起こさせ、人を成長させるのです。

思うに、知識には限りがある。自分が持っている知識を駆使すれば、知識の分だけのものが出来上がる。建築物もきちんと建ち上がります。最新の知識で建ってはいるけれど、知恵の技がなければ、それ以上のものはできません。

知恵には限りがありません。限りなく湧くもの。法隆寺や薬師寺のような古代の塔は知恵の塊です。その塔の中に入っで、何にもとられず静かな心持ちで座り、1000年前の木に触れ、昔の人の仕事を見てみると、古代の工人のその声が聞こえてきます。仕事の風景が浮かんできます。知恵の技がなければ、東大寺のような大きな寺、その柱1本も立てることはできません。



わが師匠、西岡常一棟梁（右）と製図に関わる 写真提供（株）鵜工舎

そんな飯山で1年が過ぎ、法隆寺を再訪しました。ちょうど工事監督が来ていて、島根県の大社町、出雲大社のある地の日御碕神社の解体修理があると耳にしました。「修理図面を描く人が欲しい」。本来の技師なら3カ月ぐらいで描けます。自分はまだ図面なんて引いたこともなく、見よう見まねで1年半かかった図面は今、文科省の倉庫にあつて、見れば建物が復元できることになっています。

これを機に、少しずつ宮大工としての仕事が入ってくるようになりました。68年11月、兵庫県の豊岡で酒垂神社の解体をしていた時のこと。常一棟梁から手紙が届きました。奈良の法輪寺の三重塔の工事現場へ来てもよろしい、という手紙でした。これはうれしかった。弟子入りを願ってから丸3年の春でした。

一番に「道具箱を見せなさい」。お見せしたらノミをぼいっ、と放り投げられてしまいました。使い物にならん、ということでしょうか。次に「仕事場の掃除をせい」。仕事場には、これから造る三重塔の図面と、常一棟梁の大工道具が置いてありました。あっ、これで自分は弟子入りを認められたんだな、と。

そして「これから1年間は新聞、テレビ、ラジオ、本、そういうものに一切目を向けてはいけない、刃物研ぎだけをしなさい」。その夜、榎光おじいさん同席の下、仏壇の前で常一棟梁と大きな鯛に箸を付けて、一緒に食べました。それが、

弟子入りの儀式でした。

翌日から、弁当を作ってもらって法輪寺で仕事です。未熟なので手を切ったりする。初めて切った時は黙っていたら「なぜ言わねえ」。そこで2回目は「手、切りました」と言う。「ぼけっとしとるからだ」。どっちにしろ怒られる。帰ってからは夕飯の支度。目の前に常一棟梁。師匠を前にして食べるのは緊張の連続で、1カ月ぐらいいは食べたような気がしませんでしたね。

寝る時は、榎光棟梁の部屋の2階。物音一つ立てないで寝ていました。目覚まし時計に頼らず、何時、となったらずつと起きる。常に神経を研ぎ澄ますことが身に染み付きました。親方と弟子の生活とは、そんなものです。

毎日、毎日、刃物を研いで3カ月ぐらいたった頃、常一棟梁が納屋に来て鉋を引いてくれました。その鉋くずを窓ガラスに貼り、同じような鉋くずになるまで研いで削り、研いで削り。20年、一緒に生活をしましたが、手本を示してくれたのはその鉋くず一枚でした。何も教わっていません。

「工は伝授せず、見て習え」

木は 生育の方位のままに使え

さて、法隆寺の五重塔ですが、ヒノキ材で建てられています。ヒノキは伐採し

小川三夫 (株) 鵜工舎 総棟梁

Mitsuo Ogawa

伝統技法と職業奉仕の心

昔から「職人は、利口でもなれずバカでもなれず、中途半端じゃ、なおなれん」と言われたものです。それぐらい難しい職業です。そして、職人は自分の仕事に対し言い訳が通りません。下手は下手、なんぼ言っても上手にはなりません。

おそらく、世の中の一般的な仕事は、頭で物事を考えるのですが、職人はそうではありません。体が思い、考え、知るのです。

1964(昭和39)年9月。高校2年の私は、修学旅行で、初めて奈良の法隆寺を見ました。案内人が「この塔は1300年前に建ったものですよ」と。1300年前? どうやってこんな大きな材料を運んできたのか? 塔の上にある水煙はどうやって上げたのか?

見上げているうちに、五重塔を造る仕事がしたくなりました。ちょうど当時のソビエト連邦やアメリカが、月へロケットを飛ばしていた時代です。ロケットを飛ばすためには、膨大なデータをそろえて事に当たるのですが、法隆寺の五重塔は、人が「造り上げよう」という信念で、出来上がった気がしました。私は「これを造り上げた、その工人の血と汗を学んだ方が、大学なんか行くより、自分にはずっと良いんじゃないか」と思っただけです。

家に帰って親父に「俺、法隆寺の五重塔を造るような大工になりたい」と言いました。会社員の親父は「川をさかのぼるようなもんだ」と返してきました。苦しいだけで、周りの景色は変わらん、とも言いましたね。

でも宮大工になりたい。とはいえ、自分には何のつてもない。66年2月、奈良県庁を訪れました。宮大工になりたいのでお世話願います、と言いましたら「法隆寺に西岡橋光という棟梁がいるから、そこを訪ねなさい」と。そこで、法隆寺に行きました。2人の大工さんが仕事を

されていて「西岡さんはどちらですか」と尋ねると「西岡の下の名は?」「下のお名前は忘れしました」「とにかく俺が西岡だ」と話を聞いてくれたのが、かの西岡常一(1908~95)棟梁でした。

橋光さんは父上で、当時、長男の常一さんと次男の橋二郎さん、3人で現場を持ち、仕事をされていたのでした。

18歳の私に常一棟梁は「遅い。せめて15歳で来い、それに今、仕事はない」「この仕事にしても飯は食えないから、やめておきなさい」。でも私、粘りました。役所の文化財の建造物課に紹介状を書いてももらいましたが、大工でもない私を採用してくれるところはなかなかない。大工道具を使えるようになってから来てくれ、と言われました。

工は伝授せず、見て習え

行く先がなくなった私は、長野県の飯山で仏壇作りをしている、という雑誌記事を読み出しました。「仏壇なら宮大工に近い」。飯山で修業を始めましたが、あまりにも雑用や家事が多くて参りました。今思うと、弟子は食べさせてもらって教えるものなんです。飯山では実家にいた時の環境と違い過ぎて、自分だけがひがんだり、ゆがんだりしていた覚えがあります。

声 10月号の感想 31 46	ロータリーあるある相談室 30 47	ロータリー 俳壇 28 49	ロータリー 歌壇 28 49	ロータリー 柳壇 28 49	私の一冊 25 52	卓話の泉 25 52	マジックのテクニック マジシャン隼人	北陸能登特別編 16 61	につぽんふうど 16 61	◆うちの子 豊橋 村井總一郎	ロータリーソング「我等の生業」が好き 大宮西 荒井理人 津南 田島和雄	五十の手習い 静岡西 中村功治	読・笑・吸・字・歩 100歳を生きる 13 64	友愛の広場 13 64	記事・山本朋史 撮影・工藤隆太郎	この人訪ねて 9 68	工藤左千夫さん 小樽南RC(第2510地区)	伝統技法と職業奉仕の心 4 73	(株) 鳩工舎 総棟梁 小川三夫
--------------------------	-----------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	---------------------	---------------------	--------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	--	-----------------------	-----------------------------------	----------------------	------------------	----------------------	------------------------	---------------------------	------------------

今月号の表紙 — 多才な障害者アートをお届け

桜島が爆発し、朝日に照らされた噴煙が渦を巻き、キラキラしているように見えたそうです。お出掛けで見た大好きな桜島と、フェリー、山・空・海。「さをり織り」の端糸の中から1本1本抜き取り、工夫して丁寧に貼っていきます。いつも元気ににぎやかな彼が、夢中になって取り組んだ作品です。

支援スタッフ代筆

「さをり織り」とは均一に織るのではなく、感じるままに好きなように織る織物で、「差」を「織る」という意味があるそう。初めて見た時は刺しゅうかと思いましたが、端糸を1本1本丁寧に貼り込んだ作品。細かい作業なのにフォルムのバランスがよくとれ、ビビッドな色彩は初日の出を思わせます。

アートディレクション・五十嵐仁之



桜島

イラストレーション

たつき
NPO法人 樹 / 高橋 棕さん
鹿児島県日置市

285mm × 410mm
さをり糸、変わり糸

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容のお問い合わせ)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
https://rotary-no-tomo.jp



◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



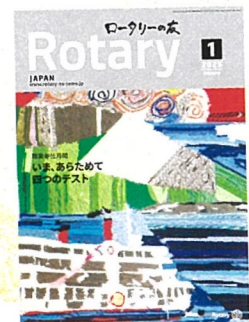
学びと ひらめき。

自分でも驚く熱意で奮闘中！

ロータリアンの父から酒造会社を引き継ぐとともに、私も入会。今年で3年目になります。今年度はクラブの雑誌・IT委員長を担当することになって、『友』の読みどころを毎月第一例会で発表しなくちゃいけないとなった！ 必死で読んで、付箋を付けたら、マーカーで線も引いたりで大慌て。持ち時間は5分ぐらいだけど、毎月努力していますよ！ 記事はクラブのみんなが参考にするし、人生への気付きもあるしね。



出水ロータリークラブ（鹿児島県）
神 孝輔さん



ロータリーの友

Rotary

1

2025

January

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

SPEECH

小川三夫さん

伝統技法と職業奉仕の心

この人訪ねて

工藤左千夫さん

小樽南ロータリークラブ

にっぽんふうど

北陸能登特別編

Rotary

